

各国首脳が今年の覇権アニメを決めるようです

蚕豆かいこ

【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

【あらすじ】

国連総会で各国首脳が大人げもなく覇権アニメについて激論を交わす。そこには各国のお国柄が見えてくる

目次

各国首脳、2018年の覇権アニメについて語る	1
各国首脳、2020年の覇権アニメについて語る	24
各国首脳、2021年の覇権アニメについて語る	42
英国議会在2022年冬の覇権アニメを決めるようです	56
各国首脳が2022年の覇権アニメを決めるようです	70

各国首脳、2018年の覇権アニメについて語る

覇権アニメ、国連で各国首脳 熱弁

2018年を象徴する覇権アニメを選出する国連総会本会議が、30日、米ニューヨークで開かれた。各国を代表する首脳陣は、今年のおのが夢中になったアニメについて、年甲斐もなく熱く演説した。

英国首相 作画厨か

「アニメーション作品にとって重要なこととはなにか、その答えは十人十色であると思う。ストーリー、演出、声優の演技。それらと肩を並べる要素のひとつに、作画のクオリティが挙げられることは論を待たないだろう。美しい作画はただ見ているだけで私たちの目と胸を余りある幸福で満たしてくれる。」

だとするならば、2018年を代表するアニメとは、京都アニメーションが生んだ作画の暴力、『ヴァイオレット・エヴァーガーデン』を置いてほかにはないとわが大英帝国は宣言する」

冒頭、そう口火を切った英首相の語り口には迷いがなかった。EUからの完全離脱が決定している英国はいま激動の時代に突入しようとしている。軍事、経済の両面で変革を求められているなかでの覇権アニメ選出だった。

「愛を知らなかった少女が、文字を書けない依頼人の代わりに手紙を書く代筆業を通してさまざまな人生に触れ、愛とは何かを探すという『ヴァイオレット・エヴァーガーデン』のストーリーは、確かに古典的で、目新しいものではないかもしれない。つまりはロボットが人間らしい感情に目覚めるというパターンの類型だ。しかし、王道とは、いつの時代でも普遍的に多くの人間が感動できるからこそ王道であり、定番になれるのだ。物語の基本はいつでも王道だ。例のクソアニメのように瞬間的な話題性のために奇をてらった作品があふれる今の爛熟した時代に、人間の根源である隣人愛をテーマにした王道のアニメーションを、空前絶後の美麗な作画で視聴できた。そのことを私は神に感謝したい。」

youtubeの広告で予告編を見たとき、私は劇場アニメだとはかり思っていた。週1の30分アニメと知ったときは思わずBlurayをポチると同時に党の幹部たちにメールを送っていた。彼らは正気なのか？”と。途中で万策尽きるのではないかという心配もあつた。だが、最後までヴァイオレットちゃんは超絶美少女のままだつた。ヴァイオレットちゃんマジ天使。作画のクオリティを保つためにいったいどれほどのスタッフの屍を積み上げたのか私ごときには想像もつかない。数学の世界で25年ものあいだ学者たちを悩ませてきた最小超置換問題の解決に多大なヒントをもたらした『涼宮ハルヒの憂鬱』を代表作とする京都アニメーションは、同作のライブシーンをはじめ、群を抜いた作画でつねに我々を魅了し続けてきた。『ヴァイオレット・エヴァーガーデン』で私はその京アニの本気を見せつけられた思いだつた。

そして、背景美術も含めた、すべてのカットが1枚絵といつても過言ではない芸術作品のような作画は、王道のストーリーでこそ活かされることを私は再確認した。奇抜なストーリーでないからこそ安心して作画を堪能できる。そのことに理解のある技量確かなスタッフとこの作品との出会いは今世紀最大の幸運というほかない。丁寧を極めた心理描写、耳と心を浄福で彩る格調高い上質な劇伴、足音ひとつにまでこだわつた効果音、主演から端役まで隙のない実力派ぞろいの声優陣の素晴らしい演技、それらがみごとに調和した本作は、3ヶ月で使い捨てにされるただのワンクルのアニメにとどまらず、次世代にまで語り継ぐべき人類の至宝であり、世界中の人々の心を永久とわに暖かく燃やしつづけるであろうことは言うまでもない。

普段は機械人形のようなヴァイオレットちゃんが、それぞれ事情をかかえた人々との出会いでいままで知らなかった情動を揺さぶられ、胸をかきむしられ、その感情がなんであるのかわからないために混乱し、とまどい、文字通り感情的になるといふ、難しい役を完璧に演じた主演の石川由衣氏には、この場を借りて最大級の賛辞を贈りたい。また、感情を持たないヴァイオレットちゃんを主人公に置くことで、笑い、泣き、怒り、そして人を愛する、そんな当たり前前のが、い

かに大切に尊いことか、終始感動させられ通しだった。正直、尊すぎてしんどい。本アニメ作品を作り上げるにあたって、私が首相に登り詰めたことなど足元にも及ばない犠牲と努力が重ねられたことは想像に難くなく、その労に報いるためにも、B u r a y の実用と観賞用と布教用に全巻3本ずつの購入、そして、2018年の覇権アニメの栄光を謹んで授けたい。それが英国の決断である」

カナダ首相 うつ病の疑い

「わがカナダは、国民投票の結果、圧倒的な支持を得て、あふろ先生原作、C o s t a t i o n 制作の見る抗うつ剤、『ゆるキャン△』を覇権として推挙することに決定しました。キャンプはアウトドアの雄といつでも過言ではないポピュラーなレジャーです。都会の喧騒を離れ、木々と芝生の大自然に囲まれたなか、山々の間に沈む夕陽を眺めながら食べる夕食は格別ですし、星降る夜空を見上げながらも考えずに過ごす時間はなものにも変えがたい。『ゆるキャン△』はまさにそんなキャンプを題材にとったアニメですが、ただのキャンプアニメではありません。主人公が女子高生であるだけに、タイトルどおり実にゆるく、気軽に旅を楽しむことが主眼に置かれていることが特徴です。

そして、私がこのアニメで最も好ましいと感じたことは、登場人物たちの絶妙な距離感です。主人公のひとり、しまりんことリンちゃん、単身でキャンプを楽しむいわゆるソロキャンの名手であり、一人の時間を大切にしている性格の持ち主です。もうひとりの主人公であるなでしこは、リンちゃんとは対照的にとても元気で外向的な女の子です。ありますが、彼女は決して押すだけの人間ではありません。リンちゃんがソロキャンを好むと知るや、一人よりもみんなで行くほうが楽しいと無理やり引張っていくのではなく、一歩引いて、その気になつたらでいいから一緒にキャンプ行こうねと言うに留める。この一歩引く、相手の都合を第一に考えるというスタンスが、本作を心地よく視聴できる秘訣であると、わが国の情報機関、カナダ安全情報局の分析結果も出ています。

キャンプでわが身を預けるに足ると思わせる美麗な背景美術、ゆるさを裏から補強するしつかりとしたキャンプ考証、渋いナレーションも忘れてはなりません」

また、カナダ首相は『ゆるキャン△』には為政者に対するメッセージも込められていると説いた。

「女子高生だけ、ましてや一人でキャンプなど、危険であるために現実味がないという声も聞きます。しかし、これこそ『ゆるキャン△』のメッセージなのです。女子高生が一人でキャンプできるような治安の良好な国を作っていかなければならない、それこそがわれわれ為政者の使命であることを思い出させてくれました。『ゆるキャン△』こそ、今年の覇権です」

中国国家主席 選んだのは『ゴブリンスレイヤー』

「本来、どのアニメが覇権というべきか、それは個人が各々決めることであり、高所大所から甲乙つけるものではない。だが一国の指導者として、覇権アニメを一本選出して推挙することもまた極めて重要な役割であることも理解している。そこに一切の妥協も許されるはずがなく、ゆえに私はこの1週間、部屋から1歩も出ず、もちろん他のすべての職務を中断して、今年度の個人的に気になったアニメを改めておさらいした。実は答えはすでに決まっていたのだが、おかげで私のなかで2018年を代表するアニメとはなにか、その答えはさらに揺るぎないものとなった。

『ゴブリンスレイヤー』。それが偉大なるわれらが中華人民共和国の決断だ。アニメ作品の基本である作画と脚本も良好であり、主人公のゴブリンスレイヤーをはじめとした個性豊かなキャラクターたちが織り成す、シリアスと微笑ましい日常とのめりはりは観るものを飽きさせない。『ゴブリンスレイヤー』は決して、まとめサイトで聞きかじっただけで知ったかぶりして中傷と害毒をまき散らす、それこそゴブリンのごとき連中の言うような、悪趣味なエログロだけが売りの薄っぺらいアニメなどではない。それらはゴブリンという悪役をひきさて、討伐したときのカタルシスを得るためのスパイスに過ぎず、

『ゴブリンスレイヤー』の主題は、主人公を含めたキャラクターたちがあくまでビジネスとして魔物を駆除しているという地に足のついた生活感である。そのことは第3話を観ればわかるだろう。ただ野宿して食事をして駄弁っているだけなのに30分があつという間に過ぎてしまう。これは登場人物たちのキャラがいずれも立っており、作品の基礎である脚本、演出が高水準であることを意味している。もつと言うなら、このアニメはゴブリンスレイヤーという一人の男が、仲間と出会い、変えられない過去と決着をつけ、社会復帰を果たす成長物語でもある。例の地上波に乗せることも汚らわしいクソアニメとは比べるべくもない、ハイファンタジーでありながらフィクションとしてのリアリティと、エンターテインメント性の両立を追求している本作の真摯な姿勢には敬意を表したい。

むろん本作にもツツコミどころはある。だがアニメに限らずフィクションでは、突っ込んだら負けという雰囲気をつくることもまた欠かせないギミックのひとつだ。『ガールズ・アンド・パンツァー』では第1話のラストで街そのものが巨大な艦船の甲板だつたというオチをみせることで、戦車砲の直撃を食らったり車体がひっくり返ったりして乗員がけがひとつしないのはおかしいとか、八九式があんなに速く走れるはずがないとか突っ込まれても、「おまえ学園艦なんてもんが存在する世界でなに言ってるの？」の一言で斬って捨てることができるようになっていた。『ゴブリンスレイヤー』もまた、突っ込んだら負けと思わせる工夫が随所に仕込まれ、しかもそれは普通に鑑賞しているだけでは気づけないほど巧妙に隠されており、没入の邪魔になることもない。

作画と二人三脚でキャラクターに息吹を与える声優の好演にも触れておきたい。タイトルにもなっている主役、オルクボルグ、かみきり丸、小鬼殺し、ゴブリンのことになると早口になる男、圧倒的コミュニケーション、ゴ布林厨、隙あらば3DCGにされる男、ゴブリンスレイヤーは、兜と面頬でつねに表情が見えず、身ぶり手振りもしない性格であるため、声だけで心情のすべてを表さなくてはならず、しかも頼みの綱の台詞といえば「そうか」、「そうだ」といったぶつきらぼうなも

のばかりで、およそパーソナリティを全面に押し出すことはなく、演じきるのは困難を極める。主演の声優はまさにその難題をクリアしていたばかりか、その低音の効いた渋い声もあいまって、ゴブリンスレイヤーという作中屈指の変人をさらに魅力的に仕立てあげる試みに成功し、[♪]ピカピカ！[♪]だけで感情のすべてを表現したピカチュウにも匹敵する偉業を成し遂げた。

なにより、小倉唯ちゃんが1話から嘔吐する演技が見られるのは『ゴブスレ』だけだということは、わが中国の歴史にもかならず書き残しておかなければならない最重要事項だ。私は自分用にあの嘔吐シーンを1時間リピートした耐久動画を編集して毎日聴いている。小倉唯ちゃんの声に癒しの効果があるとWHOによって立証されていることは諸君もよくご存じの通りだ。ましてや吐く演技となると、それを聴いた者の脳は例外なくアルファ波の洪水に溺れるだろう。

『ゴブリンスレイヤー』と『転生したらスライムだった件』を交互に視聴してゴブリンへの評価に悩んだこともあった。『ゴブスレ』の1話で視聴者の精神に大打撃を与えることとなった女武闘家の中の人が、『転スラ』ではゴブリンを演じていると知ったときは驚いたものだ。

昨今のアニメ界において、ハイファンタジーとはただ魔法を乱発して敵の軍勢を蹂躪するものばかりではないということ、比較的新しい世代にも啓蒙する役割を果たしたという意味でも、『ゴブリンスレイヤー』こそが2018年の覇権アニメであると、私は確信している」

米大統領に特オタの疑い

米ホワイトハウスは今年度の覇権アニメ選出で大いに揺れた。今年度は良作アニメが集中しすぎており、閣僚の間でもどれを覇権に選ぶか意見が割れたためだ。とくに秋アニメの豊作ぶりは異常ともいえるほどで、米国のみならず世界中が例年にない盛り上がりを見せた。米シンクタンクによれば、米小売り大手のシアーズ・ホールディングスが連邦倒産法11条の適用を申請し、事実上の倒産に追い込まれたのも、秋アニメがあまりに粒ぞろいで経営陣が視聴と考察に夢中になりすぎたためとの分析もあるという。

そんな中、米大統領は壇上で堂々とした振る舞いを見せた。

『SSSS・GRIDMAN』。それがわがアメリカの回答だ。

1993年に放映された『電光超人グリッドマン』は、脳世界を破壊する怪獣と、ウルトラマンの派生キャラとでもいうべきグリッドマンが戦い、現実世界を裏から守る、あまりにも時代を先取りしすぎた内容だった。当時はまだコンピュータウイルスの名称さえ一般的でなかったことを鑑みればその先見性もわからうというものだ。とはいえ、ちょうど原作発表時の『攻殻機動隊』とおなじように、多くの人々がコンピュータやインターネットに馴染みがなかったために、デジタル世界から攻撃を仕掛ける敵の計画がどれほどの脅威であるのか理解しにくく、それゆえ主人公たちの戦う理由もまたわかりにくいという難点があったことも事実である。そのためグリッドマンは“早すぎた名作”として、コアな特撮ファンの間で密かに語られる、知る人ぞ知る作品でしかなかった。

だが、ついに時代が追いついた。いまやインターネットは我々の生活に欠かせないものとなり、インターネットを支配するものが世界を支配することを誰もが認知するようになった現代こそ、グリッドマンのストーリーを余すことなく楽しめる時代である。

そして現代にリメイクされたグリッドマンは、ただ原作をなぞってアニメ化するだけではなく、新たによみがえるにふさわしいストーリーとキャラクターを引っ提げて我々の前に姿を現してくれた。現代のアニメには美少女ヒロインが不可欠だ。太ももの擬人化、宝多六花ちゃんはそのキャラクターデザインの秀逸さもさることながら、“解散は……違うじゃん”に代表される自然な台詞回しと、中の人によるこれもまた自然な演技とがアクセス・フラッシュし、記号的ではない、実在感のあるリアルなJKへと昇華している。彼女にこそ秋アニメどころか2018年さいかわヒロインの栄誉が与えられてしかるべきだ。

新条アカネちゃんは私に裸足のフェチズムに目覚めさせてくれた。豪邸に住んでいながら中が足の踏み場もないゴミ屋敷なのは、外見だけとりつくりついているものの胸のうちに鬱屈したストレスをため込

んでいるアカネちゃんという人物そのもののメタファーとなつて
いる。その危うさが魅力であることも確かだ。

この2大ヒロインが、グリッドマンにも特撮にも興味はなかった層
に『SSSS・GRIDMAN』の視聴を決意させた立役者であるこ
とには異論はないと思う。

なによりも圧巻なのが、グリッドマンと怪獣との戦闘シーンだ。ビ
ルがひしめく大都市をミニチュアのように破壊する巨大怪獣、ぐんぐ
んカットによるグリッドマンへの変身、足下から煽るように撮影して
巨大感を演出するカメラワークなど、往年の特撮を十二分にリスペク
トしていながら、アニメだからこそ可能なアクションも多く盛り込ん
であつた。

第1話の怪獣グルギラスの造形と動きかたには着ぐるみ怪獣を
想起せざるをえないし、第3話の電柱の変圧器の変態的な描き込みに
は思わず唾然とさせられた。グリッドマンが着地したさいの土砂の
舞い上がりには『ウルトラマンガイア』のオマーージュが垣間見え、ア
カネちゃんのソフビコレクションの名前を言い当てる楽しみもあつ
た。グリッドマンが敗北する回で映っていたソフビはパワードドラ
ゴやグローザムなどの、"ウルトラマンに完勝した怪獣"であるなど
芸も細かい。

台詞には『電光超人グリッドマン』からの引用が散りばめられ、過
去のウルトラ作品や同じタカラ社の主力商品トランスフォーマーか
ら小ネタを引っ張ってくるなど、ファンサービスにも事欠かない。
本作が素晴らしいのは、それらの小ネタを一切知らずとも楽しめる
という点にある。知らなくても楽しめる、知っていればもつと楽しめ
る。それこそ理想的なファンサービスであると私は断言する。

もともと特撮は基本的に30分1話完結で制作されていたため、テ
レビアニメというメディアと相性が良かったことも幸いした。ドラ
マパートと戦闘パートの黄金比は視聴者を強力にのめり込ませて離
さない。懐かしさと新しさ、両方が同居した本アニメは、童心に返り、
毎週アニメを観ることの楽しさを思い出させてくれた。

そして12話をかけて積み重ねてきた物語の集大成である最終話

は、まさに『電光超人グリッドマン』の第40話といってよい感動が詰め込まれていた。

『SSSS・GRIDMAN』こそ、覇権アニメである」

伊首相 南極を溶かす恋？

イタリア首相は2018年を代表するアニメに、『宇宙よりも遠い場所』を選んだ。

「南極は、この地球においてどの国の領土でもない、最後のフロンティアです。およそ人間が永住できる環境ではない、皮肉にもそのために、地球上で最も清浄な空気と水が残されている楽園でもあります。人の手が届かないために地球の本来の美しさが残されている。そんな南極は、ただ行くだけでも相当の費用と時間、訓練が必要であり、物理的にも、ハードルの高さでも、ある意味で宇宙より遠いとさえ言えます。『宇宙よりも遠い場所』、通称『よりもい』は、そんな最後の楽園に向けて女子高生4人が旅をするロードムービーです。こう言うと、女子高生がメインキャラだから選んだんだろ」と批判を受けそうですが、否定はしません。私も最初は井口裕香氏の演じる巨乳キャラがいることが理由でとりあえず視聴したのです」

イタリア首相は率直に認めながらも、

「前述のとおり、南極は近くの山を登るような感覚で行ける場所ではありません。言うなれば宇宙に行くようなものと考えておく必要があります。私もアニメ視聴後にお忍びで聖地巡礼しましたが、あまりにも寒すぎて、吐息の水分が空中で凍るような世界です。意識して水分を補給しておかなければ脱水症状で死んでしまう。想像を絶する、純白の地獄。それが南極です。ですが、そこには、われわれの日常からはかけ離れた、大自然の雄大さ、過酷であるがゆえになにもに対しても平等である地球の本来の姿を、視界のすべて、いや、体全体で感じるできませんでした。報瀬ちゃんの母親が南極を愛したのも無理はありません。地球でありながら地球ではない。まさに宇宙より遠い場所でした」

と南極を舞台にしたことの意義を評価した。

「またストーリーも毎回が完璧でした。これ以上の神回はないだろうと思っていると常に次の話数で上回ってきました。たしかに細かい粗はありますが、そんなの知ったことかと若さで突っ走る4人のエンルギーは、まさに青春そのもの。歳を重ねたわれわれが失ってしまった、まぶしさのようなものが画面から放たれていました。浄化されるとはまさにこのことです。最後までとことん付き合ってくれる友人の尊さを、あらためて認識させられました。これほどまでに泣ける。」「ざまあみろ！」を私は他に知りません。3年のあいだ止まっていた母娘の時間が、メールの受信という形で一気に進み始める演出は、今年でいちばん涙を流しました」

イタリア首相は目をうるませながら演説した。

「南極という旅は終わりましたが、彼女たちの人生はまだ始まったばかりです。ですが彼女たちなら、この先の人生という旅もきつと乗り越えていけるでしょう。南極に行くという突拍子もないストーリーで見事に4人の青春を描いてみせた『よりもい』こそ神アニメであり、今年の覇権アニメです。あと、日向を裏切った部員は許さない」とイタリア首相は演説をしめくくった。

記者から「このアニメを一言で表すならどんな言葉を送るか」と質問されたイタリア首相は、

「軽くシネマっすね」

と笑顔で答えた。

デモ頻発の仏 大統領はアニメに夢中

「私が『やが君』と出会ったのは全くの偶然だ」

壇上上がったフランス大統領は開口一番、『やがて君になる』を覇権に選んだことを表明した。

「原作第1話の時点で、『やが君』は私の背筋を伸ばさせるなにかがあった。単純に女の子がいちやくだけのファストフード的な百合ではない。私はそういった美少女動物園としての百合も大好物だが、『やが君』には文学的な匂いがした。谷崎潤一郎の描く百合の世界を現代風にアレンジし、漫画という媒体に落とし込めばこのような作品

になるのだろう。

生き生きとした伸びやかな線で描かれたキャラクターデザイン、情景に人物の心理描写や暗喩を託した演出、コマ割り、台詞運び、脚本、すべてが高水準でまとまっていて隙がない。私が驚いたのは、この作品が作者の連載デビュー作であるということだ。無論、作品の評価は純粋にその作品についてのみ吟味されるべきものであって、作者の来歴、いや、作者が誰であるかでさえ、本来は考慮に含めるべきではないことは重々承知している。

しかし、漫画の連載は、たとえば月刊誌であつても肉体的、精神的に厳しいものであることは周知の通りだ。並みの作家なら原稿を仕上げるといふ目の前の作業をこなすだけで精いっぱい、作品の全体図を気にかける余裕などないのが普通だ。ファイギュアスケートで例えるなら、ジャンプやステップといった、個々の技術を成功させるだけで精いっぱいというところだろう。

だが『やが君』は違った。作者はすでに、原稿を仕上げる作業を当たり前前にこなし、さらには作品全体を通して何を読者に伝えたいのか、自身の作品を俯瞰して漫画を描く余裕さえ見られた。やはりファイギュアスケートで例えるならば、ジャンプもステップも完璧に成功させて当たり前、むしろそれらは演技を構成するひとつの手段に過ぎず、どうすれば観客に感動を伝えられるかを考える、そんなレベルに『やが君』は到達していたのだ。

そんな『やが君』はいつかアニメ化するだろうとは漠然と予測していた。しかし実際にアニメ化が発表されたとき、私は一人のファンとして踊り出したくなるほど喜び、期待に胸を膨らませたのと同時に、心の片隅にわずかな不安が巣食っていることもまた否定できなかった。ずっと追いかけてきた原作がアニメ化され、不本意な結果に涙を呑んだ経験を持つものは少なからずいると思う。

漫画原作のアニメ化、それは口で言うほど簡単なことではない。漫画はコマ割りと吹き出しを含めた1ページ1ページが視覚的に読者に受け入れられるようデザインされている。大きなコマ、小さなコマの組み合わせ。重要なカットは見開きにするとかね。アニメでは、テ

レビ画面がコマになる。画面という常に同じ大きさのコマで、基本的に1カットごとを映し出さなくてはならない。つまり漫画で言えばおなじ大きさの1コマだけを強制的に視聴者に見せなければならぬんだ。だからただ単に原作の絵をトレースして動かせばいいというものではない。すべてのカットをアニメ用に入念に検討を重ねて作り直していく必要がある。

今年アニメなら、『ゆるキャン△』の第1話、隠れていた月が不意に顔を覗かせて、本栖湖と富士山を幽玄に照らし出すシーンだ。原作では効果的に見開きを使つてなでしこの感動を読者と共有していた。アニメでは見開きというカタルシスは使えない。だからこそエモーションナルなBGMで盛り上げたんだ。その試みが成功を収めたことはご存じの通りと思う。

『やが君』のアニメはどうだろうか、私は精神の安定を欠き、放送前の1週間はなんら執務に手がつけられなかった。おかげでフランス全土に反政府デモが広がることとなったが、ささいなことだ」

と仏大統領が言う。と加盟各国の代表団からは笑い声が上がった。「1話を視聴し終えた瞬間、私のあらゆる心配は杞憂だったのだと確信した。

アニメ化に際し、最も重要なことは、原作の持つ雰囲気、空気感を表現できているかどうかだと思つている。だがそれが最も困難な仕事であることも私は理解している。雰囲気や空気感は明文化できないものだけに共有もできない主観的なものだからだ。『やが君』のアニメは、まさに原作の終始一貫した透明感、木漏れ日のようなきらめき、田舎の古びた校舎のノスタルジー、たった一度しかない青春の輝き、それらがあますことなく再現され、カメラワーク、作画、色彩設計、音楽や音響、声優のキャスティングと演技、すべてが渾然一体となつて、『やが君』の世界に新たな命を吹き込んでいた。気がつけば、踏ん切りをつけられずにいたBlurryの全巻予約をすませたあとだったよ。『やが君』は単体の成功だけでなく、異性の多いなかでの百合という新機軸をもスタンダードとして確立させる、百合界のエポックメイキング、コロンブスの卵となるだろう。2018年覇権ア

ニメは、『やがて君になる』で決まりだ」

揺れる朝鮮半島 鍵はコーヒーカップか

北朝鮮は2018年の覇権アニメに、2014年放映の「ご注文はうさぎですか」を推挙したが、国連の安全保障理事会から「レギュレーション違反」として拒否されたことを受け、「ごちうさは21世紀の覇権アニメであり、よって2018年の覇権であることもまた自動的かつ完全に運命づけられている。国連の不当な対応に、わが国は全人民を挙げて最後の一息まで徹底抗戦する」と反発した。朝鮮中央通信が伝えた。

国連総会に出席した北朝鮮の国連大使は「朝鮮半島の非核化か、ごちうさを覇権アニメとして認めるか、国際社会の選択は二つに一つ」と主張。朝鮮半島の完全かつ検証可能で不可逆的な非核化は、安全保障常任理事国5カ国の長年の課題であるだけに、国連は難しい対応を迫られている。国連事務総長が「ごちうさが人類史上まれに見る素晴らしいアニメであることは全面的に同意するが、今年の覇権アニメは2018年度の作品から選ばなくてはならない」と改めて述べると、北朝鮮の国連大使は「わが国ではごちうさを毎日一挙放送している。よってごちうさは2018年度のアニメでもあることは明らか」と語調も強く反論した。

これに対し米国国務長官は記者会見で「ごちうさを人質にとる卑劣極まりない行為。非核化とごちうさなら、人類はごちうさを選ぶほかない。それを北朝鮮は利用している」と非難し、「あらゆる選択肢を排除しない」と、さらなる制裁強化も匂わせた。

緊迫した情勢が続くなか、北朝鮮分析サイト「38ノース」は北朝鮮のごちうさ化が進んでいるとする商業衛星画像に基づく分析結果を公表した。

同サイトによると、今年8月に撮影された衛星画像を比べたところ、首都平壤の金日成広場に並べられた無数の大きささまざまなコーヒーカップの量が増えていることがわかった。コーヒーカップは通常の食器用のサイズのものもあれば、なかには日本や韓国の遊園地か

ら拉致してきたと思われる巨大なものもあり、それらを使ってモザイク画のようにチノちゃんの顔が描かれてあった。顔は縦210メートル、横180メートルの巨大なもので、今年11月の衛星画像では、その隣にやはり無数のコーヒーカップで描かれたほぼ同じスケールのココアちゃん新たに追加されていた。首都にミルク色の異次元を作り出そうとしているものと思われる。

同サイトは「平壤に集められたカップの数は想像もつかないが、北朝鮮の人口を上回っていることは確実」と分析している。

今年の9月、建国70周年を記念した軍事パレードで、行進する兵士たちが「万歳^{マンセ}」のかけ声の代わりに、北朝鮮で「ああ、心がびよんぴよんするんじゃあ、」を意味する「ア、マウミ、ツカンチュンツカンチュン、ハヌンクナ、」のスローガンを叫んでいたことは記憶に新しい。ごちうさは19年にはOVA、20年には3期も予定しており、「朝鮮半島の動乱は終息する気配を見せない。つぎに広場に現れるのがリゼちゃんなのか千夜ちゃんなのか、事態は予断を許さない」と同サイトは警鐘を鳴らしている。

キルギス 遊牧民の誇り

キルギス共和国大統領は、登壇したときからすでに目元を腫らしていた。

「私たちキルギス人は、遊牧民を祖先に持っています。馬とともに大地を駆け、馬とともに生き、人馬一体となって勇壮に戦うわれわれを、ヨーロッパの人々はケンタウルスと呼んで恐れしました。今でも私たちにとって馬は家族であり、大自然からの使者であり、彼らとの絆は子々孫々に至るまで受け継いでいかねばならないものです。馬と人との繋がりは先祖から頂いた大切な贈り物であり、私たちキルギスの民はそれを次世代に渡す役割を背負っているのです。

そんなわれわれキルギスタンが覇権アニメとして選ぶのは、『ウマ娘 プリティーダービー』以外にありません。軍艦や日本刀、果ては細胞までも擬人化されている現代にあっても、実在する競走馬を美少女化するなど、おそらくだれもが耳を疑ったのではないでしょう

か。『まーた擬人化か』、『なんでもかんでも美少女にすればいいってもんじゃないぞ』という印象を抱いたのではないかと思えます。実を言うと、私もその一人でした。馬は馬だからこそ可愛い。

これは決して私がケモノナーだからこんなことを言っているわけではありません。馬とは草原を風のごとく駆け抜けるために完成されたフォルムを持っています。雄々しいたてがみの生えた首から背中、お尻に流れる美しいライン、均整のとれた四肢、チャームポイントの尻尾。それらすべてが馬という芸術品を構成しているのです。それをわざわざ女体化する意味とは、なんなのだろうか。奇抜なネタでいつときの注目を集めたいだけではないのか。爆死するに決まっている。そんなネガティブなイメージが拭えませんでした。思えば私はこのときすでにスタッフの術中にはまっていたのかもしれませんが。白状すると私は批判がしたいために第1話を視聴しました。

見終わったとき、私はひどく後悔しました。なぜ偏見をもってこの神アニメの視聴に臨んだのかと。これは馬の美少女化という荒唐無稽なネタだけのイロモノではない。『ウマ娘』は、日本一の夢を実現するために主人公が奮闘し、おなじ夢をもつ仲間にしてライバルたちと切磋琢磨しあい、かけがえのない出会いと別れを描いた、ド直球の由緒正しいスポ根アニメなのです。

主人公のスペシャルウィークのみならず、ウオッカ、ゴールドシップ、ダイワスカーレット、セイウンスカイにグラスワンダー、エルコンドルパサーなど、それぞれが主役で映画が撮れる歴代の名馬たちが、アニメのなかとはいえ、勢ぞろいして生き生きと走るさまは涙を禁じ得ません。

さらには実際のレースや実馬のエピソードをモチーフにしたストーリー展開は、馬を愛するものとして、目の前に人參をぶら下げられた思いでした。気がつけばOPテーマのエンディングが流れており、私はしばらく呆然としていました。スペシャルウィークを主軸にした魂を揺さぶるアニメがはじまったと確信させられていたからです。

そして、忘れてはならないのはサイレンススズカです。『観ている

人に夢を与えられるウマ娘になりたい”。私もかつてスズズに夢をもらいました。だからこそ、一抹の不安を覚えたのです。スズカの物語をどう描くのか。

今でも覚えています。98年秋の天皇賞のゴール直後を撮った当時の競馬雑誌『Gallop』に掲載されていた写真です。観客席の観客が、だれもゴールを見ていない。みんなゴールとは反対側の左を見ていたのです。レースの行方よりも、彼らはスズズの身になが起こったのか、それだけが心配だったのです。スズズはまさに伝説の馬でした。

『ウマ娘』において、レース中のスズカが足を大地に踏みしめるカットのたびに変な声が出ていたのは、きっと私だけではないでしょう。あの運命の大櫓おほけやきを通りすぎたときに起きた悲劇は、残念ながら避けることはできませんでした。しかし、『ウマ娘』は、アニメという世界にスズズを生まれ変わらせるにふさわしい展開を用意してくれていました。そこで待っていたのはただただ純粹な感動でした。スズカだけでなく、だれもが主人公と言っても過言ではありません。

このアニメを作ってくれたスタッフに最大の感謝を捧げたい。ボテ腹の需要にも答えてくれました。最後になりましたが、アニメ放映中に急逝したスペシャルウィークの冥福と、彼がOPのように天国でサイレンススズカと走っていることを切に祈ります」

韓国が選んだのは あのアイドルアニメ

「世界のどんな先進国であっても、人口減少、過疎化に悩む地域は存在するものです。そのような地域の取るべき選択肢は二つです。衰退を座して静観するか。それとも起死回生をねらって地域おこしを試みるか。風前の灯火だった佐賀県がとった道は後者でした」

壇上に立った韓国大統領は冒頭、こう述べ、佐賀県の全面協力のもと制作された『ゾンビランドサガ』を2018年の覇権アニメに選出したことを表明した。

「ゾンビといえば、ジョージ・A・ロメロの映画で一躍有名となったクリーチャーであり、それ以降ゾンビを題材にした映画やゲームは数知

れません。2015年には『がつこうぐらし!』のアニメも放送されました。しかしながら、ゾンビにアイドルをさせるアニメが出るなどと、一体だれが考えたでしょう。ましてや地域おこしとしてひとつの県が公式にバックアップするなど、死者がよみがえるよりも現実味のない話だとだれもが思ったことでしょう」

と同作の奇抜さを挙げながらも、

「しかし蓋を開けてみれば、『ゾンビランドサガ』は、不慮の事故で未来を断たれた、前途ある少女たち……いや、うん、少女たちが、ゾンビという形で第二の人生を得て、志半ばだった夢を実現させるためにゾンビ仲間と協力し、奮闘し、自分という生き方に決着をつける、普遍的なヒューマニズムを描いた傑作でした」

と絶賛した。

「第1話や2話では、このアニメ大丈夫かと心配になったことも確かです。それこそ地方の無名アイドルのステージを見たときのような、一種のいたたまれなさがありました。共感性羞恥をこれでもかど刺激されました。しかし、ストーリーが進むにつれ、生前の自分がどんな人間だったか、そしてどんな最期を迎えたか、それらのつらい事実から目を背けずに向き合い、そして前へ進んでいく彼女たちの姿に、私はいつの間にか感動させられていたのです。水野愛ちゃんのステージはまさに白眉でした。メイクが雨で落ちないように靴用の防護スプレーを全身に吹きかける、その状態でステージ中に直撃した落雷で帯電し、指からテクノレーザーのごとく乱れ打って、ついでにトラウマも克服。なにを食べたらこんな脚本を思いつくのかわかりません。笑いあり、涙ありとはまさに『ゾンビランドサガ』のためにあるような言葉です」

また、韓国大統領は同作を影に日なたに支援した佐賀県の功績も大きいと語る。

「コッコちゃんの声優が現役の公務員と知ったときは食べていたピーナッツがすっ飛びました。Aパートに比べると明らかにアフレコが上達しておられた、本人役でご出演されたドライブイン鳥の社長も、本作の忘れてはならない立役者のひとりです。最終回のライブに彼

も来てくれたときは涙をこらえようもありませんでした。わが韓国の釜山広域市蓮堤区は、佐賀市と姉妹都市の締結をしています。隣人として、素晴らしい作品と出会えたことを幸運に思います」

続いて大統領は、『ゾンビランドサガ』は決してフィクションであると片付けてはいけないと指摘。

「彼女たちは、一度死んで、ゾンビとして人生をやり直しています。しかし、現実になんかことは起こりません。ゾンビなどというものはこの世にありませんし、死んだ人間は生き返らないのです。だからこそ、われわれは、たった一度しかない人生を、いつ死んでも後悔も未練もないよう、アイドルを目指す作中の彼女たちのように全力で生きていかねばならない。『ゾンビランドサガ』は人間ではないゾンビの頑張る姿を通して、われわれにそう訴えかけていたのだと思います。この作品を語るにはそれこそゾンビになるくらい時間が必要ですが、あえて、たった一言で表すなら、『よか』。それが『ゾンビランドサガ』です」

と、大統領が一筋の涙を流す場面もあった。

「最後になりましたが、『ゾンビランドサガ』の個人的な一押しヒロインには、私はだれであろう、異幸太郎を選ばせていただく。ありがとう」

日本 血迷った国家戦略

日本政府は24日の閣議で、本年度の覇権アニメに『ポプテピピック』を推挙すると決定した。推挙は官房長官が25日の記者会見で明らかにした。「官房長官談話」も発表し、「アニメとは何か。物語とは何か。芝居とは何か。それらを総合的に問題提起した意欲作であるとし、同作こそ本年度の覇権アニメにふさわしいと判断した」とする政府の立場を説明した。

『ポプテピピック』は、一見すると、たしかに一時的な話題性と売り逃げを目的とした、奇をてらっただけのアニメと感ぜられるかもしれない。『ザ・エンドってね』や、BBの提供、イェアアアアなど、知る人ぞ知るネタ、特にネットスラングが目白押しであるだけに、ともすれば、悪ノリしすぎている、プロの表現者としてのプライ

ドがないという意見が多いことも理解できる。私も、安易にジョジョネタに頼ったりするラノベはISBNコードを与えるに値しないとすら考えている。『ポプテピピック』も実は似たようなものなのかもしれない」

総理は臨時国会の冒頭、こう述べた上で、「しかし、要素をひとつひとつ解剖していくと、それらのネタはあくまで表層的なものに過ぎず、このアニメの神髄は、表現とはなにか、声優という顔のない表現者にとって芝居とはなにか、その深遠な哲学に踏み込んだことにある」と指摘し、『ポプテピピック』は声優リセマラと言われるほど多くの声優を起用した。注目すべきは、AパートとBパートでまったく同じストーリーを展開しながら、声優だけを変えて製作されていたこと。これによって、女性の声優ならこう演じる、男性の声優ならこう演じるという違いを、より明確に比較することができた。仮にもキャラクターが女子中学生であるにもかかわらず、男性のベテラン声優のほうが違和感がなかったという不測の事態もあつたが、彼ら彼女らが、ポプ子やピピ美といった何もバックボーンのないキャラクターを演じた経験は、これからの声優にとって、ある意味で芝居の教科書の一章になると信じている。これは他のどんなアニメにもできなかった偉業」

と『ポプテピピック』を覇権に選出する意志が固いことを改めて表明した。

『ポプテピピック』はあくまで一過性のネタアニメに過ぎず、そのようなアニメを今年の日本の顔として選べば、将来的にわが国の汚点となり、外交関係も含め、わが国の国益にかなうものではない」と、質疑で野党に追求された総理は「あーなるほど完全に理解した」と答弁するにとどめ、『ポプテピピック』は日本を代表するアニメにふさわしくないという声も多数上がっているが、どう思うか」という質問には「ごめん、ヘルシエイク矢野のこと考えてた」と答えた。

「ニコ動で全話ミリオン達成とイキッてたわりには円盤は芳しくなかったじゃないですか。どこが覇権なんですか。そもそも、あのアニメを高画質で視聴して何が楽しいんですか」という批判に、「ネット配

信が普及しつつある現代において、円盤の価値は相対的に縮小しており、円盤の売り上げが作品の収益の全てではなくなってきた。またOPは、アニメーションのクオリティの高さと、すみぺの魅力的なOPテーマとが相乗効果を成している、内外から高い評価を得ている」と首相が答えると、野党議員は「OPに関しては全面的に同意するが、アニメ作品の出来はOPだけで決められるものではない。到底、国民の納得は得られない」と追及の手を緩めなかった。

首相は「かつて消費税を導入した、当時の総理大臣だった竹下登氏は、いつか国民は自分に感謝する日がくると述べていた。2018年の覇権アニメに『ポプテピピック』を選んだことに、いつか国民が感謝する日がくると信じている。国民にも理解を求めていきたい」と答弁をしめくくり、野党からは中指を立てながらの罵声が飛んだ。

続いて連立与党代表の「アニメとは、あくまでも絵によつて展開される世界であり、最終回に実写の蒼井翔太が登場するのはあまりに常軌を逸していて、悪ふざけが過ぎ、そもそもアニメとしての品格を問われている。このことについてはどう思うか」という質疑には、

「実写のキャラクターが最終回に絡む演出は、『マイアミ☆ガンズ』にもあった。というか『SSSS.GRIDMAN』でも重要な役割を果たしていた。よつて必ずしも『ポプテピピック』の評価を下げるものではない」と反論した。

翌25日の衆議院採決では、与党の全議員が起立。野党議員らは着席したまま両手の中指を立てて最後まで抵抗した。『ポプテピピック』を2018年覇権アニメに推挙する案は起立多数で可決され、その日の内に参議院でも可決、成立した。

野党はこぞつて反発し、野党第一党党首は採決後の取材に「よりもよつて『ポプテピピック』を選ぶなど、日本の恥。他国に顔向けできなくなる」と政府を非難。また、ある野党幹部は「本来は国民投票で信を問うべき事案。内閣不信任案も視野に入れ、徹底的に糾弾していく。覇権は『甘い懲罰』と語気を強めた。

国会議事堂前では連日、『ポプテピピック』を覇権アニメと一方的に

決定した政府に反発するデモが開かれ、機動隊が出動するなど、一時物々しい雰囲気となった。デモに参加したある女性は「『ポプテピピック』を推挙するなんて言語道断。日本の民主主義は現政権によって冒とくされている。覇権は『火ノ丸相撲』以外ありえない」と涙ながらに話し、取材の途中で「いや、覇権は『あそびあそばせ』と割り込んできた別の女性と乱闘に発展する一幕もあった。

日本が『ポプテピピック』を覇権アニメとしたことについて、諸外国も敏感に反応を見せた。北朝鮮は国営メディアを通じて、「日本がかくのごときクソアニメに、栄光と威厳で祝福されるべき覇権の栄冠を与え、神聖なるアニメーションという芸術を貶める愚挙を続けるのなら、わが国は天を割り地を揺るがす正義の雷いかづちをもって竹書房をこの地上から永久に消滅させ、ついでにソウルも火の海にする」と表明した。

この恫喝ともとれる北朝鮮の発表を受け、防衛相は26日、北朝鮮の弾道ミサイル発射に備え、自衛隊によるミサイル迎撃を可能とする破壊措置命令を出した。複数の防衛省関係者が明らかにした。

自衛隊は命令を受け、航空自衛隊の地対空誘導弾パトリオット（PAC3）部隊を竹書房本社ビルの屋上に展開した。

ところが、29日に防衛相が地元の後援会の挨拶で「あんなもん（竹書房）守る価値ないよ」と発言したことが問題視され、与党内からも「正論だが失言だ」との声が相次いだ。防衛相は取材に対し、「秘書がやったことになんねーかなー」としながらも、進退について明言は避けた。防衛相の対応からは、ポプテピピックときで辞任したくないという考えが透けて見える。

防衛省は28日、韓国海軍の駆逐艦が石川県・能登半島沖の日本海で海上自衛隊のP1哨戒機に火器管制レーダーを照射した問題で、哨戒機と韓国海軍クアンゲト・デワン級駆逐艦との間で当時交わされた、緊迫感に満ちた無線内容の公開に踏み切った。

（けたたましいレーダー警告音）

韓国海軍「おこった？」

哨戒機「おこってないよ」

(再びけたたましいレーダー警告音)

韓国海軍「おこった?」

哨戒機「おこってないよ」

日韓関係に詳しい専門家によると、日中間ではこうした軍事的に緊張が高まる局面が過去にもしばしば見られたが、日韓で火器管制レーダーの照射という危険行為が起きたことは初めて。

「根底には『ポプテピピック』の覇権選出がある。韓国軍の現場には不満がくすぶっている」と前出の専門家は語る。

また、シリアのイスラム過激派組織ISISは、インターネット上に公開した動画内で「日本が『ポプテピピック』を覇権とすることは、すなわちアッラーへの宣戦布告に他ならない。いまずぐ取り下げて『はたらく細胞』を覇権にせよ」と声明を出した。

政府は「わが国はテロリストとのいかなる交渉にも、また、いかなる内政干渉にも応じない」との立場を崩していないが、「イスラム国の兵士たちの間では今、血小板ちゃんのコスプレが流行している」(外交筋)という情報もあり、血小板ちゃんの熱狂的なファンが多いとされる連立与党からも、「『はたらく細胞』は擬人化の極北であるだけでなく、今年の夏には原作の熱中症をテーマにした回を無料配信するなど、コンテンツとしての社会貢献度も段違い。党の中にも、同作を差し置いた『ポプテピピック』の選出には疑問の声も多い」(連立与党中堅議員)との本音が漏れる。

政府の発表は経済にも影響を与えた。25日の東京株式市場は日経平均株価が急落し、節目の2万円を約1年3カ月ぶりに割り込んだほか、終値も前週末比1010円45銭安の1万9115円74銭と、1年8カ月ぶりの安値水準となった。米国大統領がアニメに夢中になりすぎるあまり予算執行のサインを忘れて米政府機関の一部が閉鎖するなどし、米株式市場が大幅統落した流れを引き継いだ形だが、「それはあくまで引き金にすぎない。日本政府が『ポプテピピック』を覇権に選出したことが、投資家たちにとってはピストルに込められた弾丸となった。それが撃たれてしまった格好だ」と、ある証券経済研究所のシニアマーケットアナリストは足下の市場心理を代弁

した。

『ポプテピピック』の推挙による影響だとしても、政府として態度が揺らぐことがあってはならない。株価と『ポプテピピック』のどちらをとるかと聞かれたら、政府としては『ポプテピピック』と答えるしかない。痛みを伴う改革だ」。財務相は25日の閣議後会見で、大幅に下落した株式市場に対して「仕方がない」という認識を示した。

国連総会で首相が「わが国が覇権として選んだのは『ポプテピピック』」と述べると、各国代表は両手の中指を立てて応じた。

「多数の声優の熱演と怪演、サブカルチャーからの幅広いパロディー、AC部による高速紙芝居で展開されたヘルシエイク矢野、女性声優バージョンよりも原曲のキーに近かった玄田哲章氏の熱唱。アニメはここまで自由に作っていいんだと同作は教えてくれた。日本のアニメに風穴を開けた。よって、これから未来のアニメに与えるであろう影響も鑑みて、わが国は『ポプテピピック』を覇権に推挙する」と演説した首相が、最後に、

「それとともに、『星色ガールドロップ』のアニメ化を強く熱望していく所存である」

としめくくると、各国代表団は打って変わって総立ちとなってスタンディング・オベーションで賞賛した。拍手は3分間続いた。

国連総会は最後に、「今年も素晴らしいアニメと感動の数々をありがとう」と、すべてのアニメ制作関係者に感謝する声明を全会一致で採択した。国連事務総長は「アニメを制作する環境は年々厳しくなっているが、来年もまた笑いと涙、そして驚きをもたらしてくれる素敵なアニメとの出会いを期待したい。そのためなら国連はいかなる助力も惜しまない」と結んだ。

各国首脳、2020年の覇権アニメについて語る

アニメの祭典 今年も

米ニューヨークの国連本部で31日、本年度の覇権アニメを決定する国連総会が性懲りもなく開催された。新型コロナウイルスの影響のため、国連発足以来はじめてとなるオンラインでの開催となった。

2020年は新型コロナウイルスが世界的に猛威を振るい、映画館の動員数も伸び悩むなか、『劇場版鬼滅の刃 無限列車編』が公開からわずか72日で興行収入321億円を記録し、それまで邦画興行ランキング1位だった『千と千尋の神隠し』の316億円を超える異例の大躍進を遂げた。これにより邦画の興行ランキングは1位から5位までをアニメ映画が独占することとなった。『機動戦士ガンダム』の生みの親として知られる富野由悠季氏が約40年前に語っていた「この業界（アニメ業界）には幾多の天才たちがいる。その天才たちの才能が開いたとき、日本映画のランキングはアニメで埋め尽くされる」という予言が現実のものとなったといえる。

アニメの主戦場であるテレビアニメも、新型コロナウイルスによるいわゆる三密の回避などで制作に大きな困難を強いられたが、それでもスタッフやキャストの並々ならぬ努力もあって「例年と比べても遜色ない名作が次々誕生した」（官邸筋）と評される豊作ぶりを見せた。

アフガニスタン 百合に陥落 タリババンも同調か

「あらゆる他に神はなし。そして今年の覇権アニメは『推しが武道館いってくれたら死ぬ』の他になし」。演説冒頭、大振りの銀ジャケを抱きながらそう口火を切ったアフガニスタン共和国大統領の表情に迷いはなかった。

「いまさら説明が必要な人類はいないと思うが、『推し武道』は、大都會岡山の地下アイドルへCham Jamのメンバーの一人である舞菜を全身全霊で応援するべき^{トップオタ}TO、えりぴよを主人公とする

コメディだ。ただでさえマイナーな地下アイドルのさらに人気最下位である舞菜に、えりぴよは狂気といってもいい愛情をそそぎ込んでいる。えりぴよが女性でなかったら危うく犯罪になるところだったことは一度や二度ではない。あまりに愛しすぎてえりぴよは苦悩する……なぜ自分は舞菜を産んでないんだろうと。自分が母親だったら舞菜がこの世に誕生してからの1分1秒をすべて堪能できていた。えりぴよは舞菜に邂逅するまでの時間を悔やむ。その空白の時間を補うために高校時代のジャージしか着るものがなくなるほど生活のすべてを舞菜の応援に費やすが、それでもやはりもっと早く舞菜に出会えていたら舞菜への愛情の総量はさらに上回っていたはずだと悶絶する。えりぴよは恐らく現実よりも早く舞菜を知ることができたパラレルワールドの自分を勝手に想像して嫉妬したりしているのだろう。

CDを買うにはお金が必要だが、ライブのある日は丸一日を潰すので正社員にはなれず、アルバイトの収入はすべて舞菜に使う。まさに人生をかけている。〈Cham Jam〉が解散したり舞菜が引退したあとのことなどみじんも考えていない。人はここまで誰かを愛することができるのだとこの漫画は我々に突き付けてくるのだ。

しかし、当の舞菜はたった一人の固定ファンであるえりぴよに塩対応を繰り返す。なぜか？」

アフガニスタン大統領が問いかけると各国首脳たちは身を乗り出した。

「我々ムスリムにとって、アッラーは偉大なる神だ。偉大すぎるため、人間がその姿を直接見ると目が潰れてしまうという。えりぴよは舞菜を崇拜してやまないが、舞菜もまた、自分を応援してくれるたった一人のファンであるえりぴよに狂おしいほどの、いや失敬、偏執的な愛情を抱いているからだ。舞菜にとってえりぴよはアッラー。だから直視できない。目を合わせられない。それをえりぴよは自分は嫌われていると誤解する。この勘違い、すれ違いが、十字軍さえ許してしまえるくらいの微笑ましさを生む。

しかしえりぴよは舞菜推しをやめない。どれだけ舞菜に目を逸ら

されようとも、最前列のチケットを獲得して……まあそれ自体は大して難しいことではないだろうが、そして彼女のメンカラーであるサーモンピンクのキンブレ（キングブレード。電池式のペンライト）を振って応援する。愛しているからだ。愛とは見返りを求めないものだ。見返りがあればむろん嬉しいに決まっている。だが、報われなかったからといって恨み言など言わない。ただただあなたを応援する楽しい時間を与えてくれてありがとうと感謝する。オタクとは、人間とはこうあるべきなのだ。古来、優れたコメディはただ笑わせてくれるだけでなく、作品を通して理想の人間像を観客に提示してきた。『推し武道』もその一翼を担う作品であろうことに疑問の余地はない。

理想の人間像といえ、この漫画におけるレギュラーの1人、くまさんにも触れておきたい。くまさんは〈Cham Jam〉のリーダー、れおを推すTOであり、えりぴよの数少ない友人でもある。彼は見た目こそ典型的な中年独身キモデブ限界子供部屋おじさんだが、人を外見で判断することがいかに愚かであるかを私はくまさんに教えられた。彼もまた推しを応援するために人生を捧げているが、わきまえるべき一線を越えることはない。その気配すら見せない。彼は自分がどういふ人間か自虐的なほどに理解している。ドルオタならプライベートでたまにまたま会った推しに話しかけられたりすれば天に昇るほど嬉しいだろう。だが彼は接触（握手、チエキ撮影、サイン会などのアイドル交流イベント。たいていCDに付属する握手券と引き換え）以外では推しとの会話すら必要最低限に控える。自分はれおと無料で言葉を交わす資格などないと悟りの境地に至っているからだ。れおという素晴らしい存在が自分に時間を使ってくれらなら、せめて握手券を買わなければ到底釣り合いがとれないと信じている。彼の信条を端的に表した名言を紹介しよう。『お金を出してこそその接触。気持ちいいでしょう？ 1000円で買う推しの5秒。興奮するでしょう？』。

れおと自分の関係はあくまでアイドルとオタクであり、その関係を踏み越えようなどというオタクにありがちな考えをくまさんはむしろ厳しく戒める。だからこそ、くまさんがれおの住所を知ってい

たとしてもなんの心配もなく見ていられる。えりぴよとの掛け合いも笑いなしでは読めない。くまささんこそ聖人であり、理想のオタク、理想の人間といつても決して過言ではないだろう。

なにより、〈Cham Jam〉のメンバーは誰もが個性的ではあるが嫌味な所がない。最下位の舞菜を見下したりいじめたりすることはない。互いが互いを尊重し、ひとつのチームとして、いかにファンに喜んでもらうか、ただそれだけを考えてひたむきに努力し切磋琢磨しあう。これもまた理想の人間関係だろう。アイドルものにありがちなギスギスやとってつけたようなシリアスはないので読んでいて快い。

『推し武道』は推しをもつオタクにとって大いに共感できうる啓蒙作品であり、コメディであり、真理である」

アフガニスタン大統領は、これほどの漫画作品がアニメ化される運びとなったのは当然の真理としながらも、「いくばくかの不安があった」ことも事実だという。

「包み隠さずいえば、はじめて原作を読んだとき、私はえりぴよ以外の女性キャラの見分けがつかなかった。どの女の子も同じ顔に見えた。だが2話、3話と読み進めていけば、見分けがつくどころか髪型を変えようが遠景だろうが自然に個人認識できるようになっていた。これは平尾アウリ先生の卓抜したキャラクターデザイン、そして作画スキルによる現象だ。そういえば私はリアルでも人の顔を覚えるのに時間がかかるが、一度覚えれば髪型や服装を変えたくらいでは誰かわからないなどということはない。同じ現象が『推し武道』では起きていた。それだけ『推し武道』のキャラ達は2次元と3次元とのすり合わせがうまくいつている証左だ。

アニメーションは、原作者が作るものではない。別の、それも多くの人々の手によって制作される。原作がアニメに翻訳される際、時として致命的な齟齬が生まれてしまう悲しい事例を我々はしばしば目にしてきた。よほどのことがなければアニメ化は1回きりだ。そのたった1回きりのチャンスを『推し武道』のアニメは活かせるだろうか。平尾アウリ先生の素晴らしいキャラクター達をちゃんとアニメ

に翻訳できるだろうか。『悪の華』みたいに原作と絵がまったく違っていたりしたらどうしようと思われぬ夜を幾度も過ごした。私は1日5回の礼拝を欠かさないが、そのうち1回は、いや2回は、正直いうと5回くらいは『推し武道』のアニメの成功を願っていた。私は一心に祈った。あれほど祈ったことは私の人生でははじめてだった。

そしてついに訪れた第1話を視聴して、私は自分がいかに浅慮で愚かで不敬で稚拙な凡夫であるか思い知らされた。えりぴよはえりぴよとして、舞菜は舞菜として、動いてしゃべって笑っていた。本アニメには、確かにえりぴよと舞菜が居たんだ。

アイドルアニメに欠かせないライブシーンに3DCGを使わずあくまで作画で挑むという、近年の厳しい制作スケジュールと予算の中でも可能なぎり原作ファンに『推し武道』の名に恥じない作品を届け、さらには新規のファンをも獲得して、本作品を、いやアニメーションというジャンルそのものをもっと盛り上げていこうというスタッフの気概が窺えた。愛した原作のアニメ化という悲喜こもごもの一大イベントを彼らは最高の形で喜び一色に染め上げて我々に提供してくれた。我々にできる恩返しがいざいざblue-rayの購入くらいしかないのが残念なほどだ。偉大なるアツラーとアニメ化に携わった全てのスタッフに、ラマダンでもないのに断食で感謝の念を表したが、彼らの功績には程遠い。スタッフに感謝の念を伝えるにはどうすればいいか、アフガニスタンの大統領として考えた」

米政権とアフガニスタンの反政府勢力タリバンは2月29日、カタルの首都ドーハで、駐留米軍の段階的撤収などを定めた和平合意に調印した。アメリカとタリバンは、2001年にアメリカがアフガンに侵攻してから今日まで続く戦争の、いわば不？戴天の敵同士。そんな両者が和平合意にまでこぎつけた背景には、アフガニスタン大統領の尽力があった。タリバンの態度軟化には、幹部に多くの『推し武道』ファンがいることが関係しているとされており、ある幹部は「我々はシーア派と妥協することはできない。だが『推し武道』を尊いと思う一点でのみ合意できる」(AFP通信)と話している。

またアフガニスタン大統領は3月14日以降、1500人のタリバ

ンの受刑者を釈放し、さらにアフガン政府とタリバンの間の交渉開始に伴い、2週間ごとに500人ずつ、残り合計3500人の受刑者を釈放した。いずれも『推し武道』のファンであり、「これからは銃ではなくキンブレを持つよ。そういう生き方をえりぴよは教えてくれたんだ」と話す元タリバン兵もいた。

「たとえ推しの握手券を100枚持っていようと接触は1枚分の5秒にとどめる。その精神が広まれば、人類はきつと世界平和を実現できるだろう」とアフガニスタン大統領はしめくくった。

フィンランド、英雄の帰還に涙

フィンランドの大統領は、今年の覇権アニメに『ストライクウィッチーズ ROAD to BERLIN』を選出したと宣言した。同作は地球によく似た世界が舞台となっており、魔女（ウィッチ）と呼ばれる少女たちが戦闘機のように空を飛んで、謎の敵「ネウロイ」と戦うというストーリー。2008年にTVアニメが放映されて以来、漫画や小説など幅広いメディアミックスを展開する長期シリーズとなっている。ウィッチたちの大半が第二次世界大戦で活躍したエースパイロットをモチーフにしていることも話題となった。アニメ版は平成20年度（第12回）文化庁メディア芸術祭審査委員会推薦作品にも選ばれている。日本政府が「スト魔女は文化」と公式に認めた同コンテンツは、遠く離れたフィンランドでも人気だという。

「第1話を観たとき、私は同席していた首相や閣僚らにこう言いました。『諸君、我々のユーティライネンが帰ってきたぞ』。ユーティライネンだけではありません。8年前にラストで『つづく』と大書されていた劇場版の、その後を描く正当な続編である本作で、第501統合戦闘航空団ヘストライクウィッチーズの彼女たちが、あのとときの姿と声のまま帰ってきたのです」

フィンランドでは、同国のエースパイロット、エイノ・イルマリ・ユーティライネンをモチーフとしたエイラ・イルマタル・ユーティライネンが特に人気が高い。エイラの誕生日と設定されている2月21日には、フィンランド駐日大使館の公式ツイッターアカウントが彼

女の誕生日をフィンランド語でお祝いするツイートとともに、その日1日だけとはいえアイコンとヘッダーまでエイラに変更する気合の入れようを見せた。

「エイラには人生のすべてが詰まっています」とフィンランド大統領。「普段は飄々としたつかみどころのない、ともすればやる気の感じられない態度ですが、やるときはきっちり役目を果たす。しかもエイラは、オラーシャの至宝サーニヤを含む戦友たちを一瞬先の未来予知を可能とする固有魔法でたびたび助けていますが、それは取りも直さず、凍てつく空に咲く一輪の花サーニヤが被弾するビジョンを幾度も見てきた事実が8話で明らかにされたということです。おそらくこれまで彼女は愛するサーニヤが戦死する未来さえ視てきたと思われれます。なんとという精神力でしょう。そんなものを何度も見せつけられたら私なら気が狂います。しかしエイラはその冬戦争よりもくそつたれな未来を彼女自身の力で変えてきました。過去は変えられない。でも未来は変えることができる。そして自分の人生と未来を変えるのはほかならぬ自分自身なのです。エイラは持つて生まれた能力で、ウラル山脈の天使サーニヤの死を目撃することになりましたが、悲観などせずその能力をフルに使って救う道を選びました。エイラが抱える苦悩はいかばかりか。誰とも共有できないし、そもそも彼女はそうすることを望まないでしょう。それでいてあの飄々っぷりだ。恩着せがましくないエイラの生き方に我々が見習うべき点は多いのではないでしょうか。

エイラーニヤだけでなく、本作では501のみんなが輝いています。各キャラを掘り下げながらストーリーも同時進行させる手腕は見事の一言です。ストーリーとキャラが密接に絡み合った脚本は神回量産機としか言えなかつた。

作画においても、故郷を取り戻す悲願と魔法力が衰えるタイムリミットへの焦りが入り混じったカールスラント組の表情や、空戦での奥行きを感じさせるレイアウト、激しさを増すネウロイとの激闘は出色の出来栄えでした。

ついでにというと、魔法力の減退が始まる20歳というタイムリミッ

トが迫る描写に、なんの疑いもなく永遠に若いままでもいられると信じていたのに気がつけばTVアニメ版エヴァのミサトさんもすっかり年下になってしまったわが身を重ね合わせ、涙を禁じ得ませんでした」

また、フィンランド大統領は、第8話の「わたしもミーナももう20歳だ!」というバルクホルンの台詞を、バルクホルン役の園崎氏がアフレコで「40歳だ!」と言い間違えるNGを出したエピソードに触れ、「40歳のお姉ちゃん、ありだと思います」と答え、総会は一時騒然となった。

「声優陣にも注目したいところです。エイラも、蒼空に舞う銀雪サーニヤも、芳佳ちゃんも、リーネちゃんも、静夏ちゃんも、ペリーヌも、シャーリーとルツキーニも、お姉ちゃんとミーナとハルトマンも、もっさんも、8年前の劇場版からなにも変わっていませんでした。劇場版の公開当時にまで時間が戻ったような錯覚に陥ったほどです。むしろリアルで8年経っているぶん演技の引き出しが増えたことで、より表現力が豊かになっていました。それでいて最終話のもっさんや芳佳ちゃんのように喉が潰れそうなほどの悲痛な絶叫もいとわない。声優陣にとっても本作が特別な作品であることがうかがえます。

最終話といえば、世界首都ゲルマニアのランドマークを破壊した2人のモデルがフィンランドとソ連のエースパイロットという構図には、正直胸の高鳴りが抑えられませんでした」

とフィンランド大統領が語ると、ドイツ首相が神秘的な面持ちで何度も頷いた。

最後に、国連総会議長から「いちばんお気に入りのお話は?」と質問されたフィンランド大統領は、

「7話です」

と曇りのない瞳で即答した。

英国 王室問題には手を出すな

ダウニング街10番地の首相官邸前から総会に参加した英首相は、2020年の覇権アニメに『映像研には手を出すな!』を推挙したと

発表。いつもの寝起き風ぼさぼさ頭を寒風に吹かせながら同アニメについてブレグジットよりも真剣に語った。

「考えてもみてほしい。今年『映像研』のほかにアニメーションがあったらどうか? 『映像研』はほんの少し未来の世界で華のJK3人組がアニメ作りに奔走する物語だ。俺らの擬人化浅草氏、後ろ姿だけは絶世の美女だが真正の銭ゲバ金森氏、事実上の紅一点水崎氏の3人は、高校生でありながらひよんなことからちゃんとリクープできる(採算の取れる)アニメを作ることになる。浅草氏は水路やトマソンですら空想の材料にして架空のメカに仕立ててしまう筋金入りのクリエーターだ。彼女が書き溜めたスケッチブックの設定資料やイメージボードは、水彩画であることもあいまって宮﨑駿監督の雑想ノートを連想させ、それが本アニメでは『アニメーション』という魔法によって命を与えられ、空想の世界で設定どおりの実物大で動く。雑想ノートが動くんだ。これに心躍らない男は去勢手術でも受けたかもしれないトルコ大統領かのどちらかだ」

これにはトルコ大統領も苦笑い。かつて英首相は某雑誌の企画「いちばんトルコ大統領を不快にさせてやったで賞」にトルコ大統領がヤギと性行為を行なう詩を投稿し、みごと優勝を勝ち取り1000ポンドを獲得している。

「子供たちが協力してなにかを作る物語では、いいものを作って終わりになるものが多い。それはそれで悪くないが、本作では納期厳守はもちろん、経営やプロモーションも視野に入れてリクープライン(損益分岐点)を設定し、ビジネスとして成功させてはじめて目標達成となる。作りたいものを作るには予算と時間がどれくらいかかるのか、それは完成したらどれくらい売れるのか、そのとき赤字になるのか赤字になるのか、赤字になる見込みだったらコストカットするかそもそも企画を一からやり直すか。ゆえに本作のアニメ作りでは妥協もまた避けては通れない。予算と時間が無限にあれば作れるはずの巨大な『最強の世界』を、少しずつ妥協のやすりで削っていったら、現実世界に収まるサイズにまで小さくしていかなければならない。

それは監督の浅草氏だけでなく、原画にして動画にして作画監督の

水崎氏も同様だ。彼女はアニメーションの芝居に並々ならぬこだわりを持っている。人間が10人いれば食事をしていても10通りの食べ方がある。10通りの歩き方、10通りの走り方がある。ロボットや怪獣が出るならその架空の存在の構造・生態を想像し、骨格と筋肉、関節駆動部の設定を詳細に詰め、それが動くときにどんな挙動を見せるのか、脳内でイメージし、さらに作画で出力しなければならぬ。つまり原画とは俳優だ。登場人物が10人いれば水崎氏は1人10役をこなす必要がある。人間だけでなく、動物、巨大ロボット、壊れる建物、爆発の炎や煙も登場人物に含まれる。水崎氏はすべての“動くもの”に納得のいく動きをつけたいが、納期は容赦なく迫ってくる。100を100として完全に作品にしたいのには、間に合わなければ0。作品にするためには80、それでも時間がないなら70と、完成度を意図的に下げていくしかない。理想と現実のはざままで、金森氏と水崎氏はこれ以上は完成度を下げないですむようにひたすら手を動かし続ける。

プロの仕事には納期と予算がつきものだ。うちの王室は違うようだが、おつと失礼。とにかく利益を確保しなければ続けることができない、その現実を誰よりも知っているのが金森氏だ。彼女は卓越した手腕で資金を調達し、浅草氏と水崎氏がアニメ作りできる環境を整えていく。そして2人をつねに監視し手綱を引く。能力はあるがクオリティのことしか考えていないアマチュアの2人を、黒字の出せる作品を作るプロのクリエイターたらしめているのはほかでもない金森氏だ。いわば『ラーメン発見伝』のハゲが味方についたようなものと考えてほしい。厳しいがこれほど頼りになる存在はいない。ただしハゲと異なるのは、金森氏はアニメのことをなにも知らないということだ。だから3人のなかではある意味でいちばん客に近い。客がパツと見て気づかないような部分のクオリティアップに時間を使うのは無駄としてとりあえずさっさと完成させろと迫る。全体の進行に寄与しない枝葉末節に拘泥して完成までこぎつけられなかったら本末転倒だからだ。

これに対して浅草氏や水崎氏は、確かにほとんどの人はアニメー

ターのこだわりなど気づきもせずにスルーするだろうが、わかる人にはわかる、そういう作品を作ることこそがアニメ作りの動機そのものであると譲らない。浅草氏、金森氏、水崎氏、この3人は誰も間違っていない。ブレーキの壊れた車は論外だが、アクセルを踏んで加速しない車にも用はない。浅草氏と水崎氏はアクセル、金森氏はブレーキに相当する。目の前の作業をこなすことしか頭にない2人に引き換え、金森氏が全体を俯瞰して適切にブレーキを踏んでくれる。だからこそ浅草氏と水崎氏は安心して思いきりアクセルを踏んでいられるのだ。金森氏が予算と時間を計算し、現実的に可能な妥協点を提示し、時には容赦なくカットを命じ、時には客はお前のアニメが見たいんだ、お前だけは弱気になってはいけなさと叱咤する。このアニメで監督とプロデューサーの役割の違いがはつきりわかった視聴者も多いだろう。

雑想ノートが動く感動、3人のJKがひとつのことにエネルギーを燃やす青春、未来なのにどこか懐かしい下町の風景、浅草氏のだみ声と金森氏の猛禽類めいた声、水崎氏のキラキラ輝くような声。ワクワクさせてくれる音楽。浅草氏のスケッチブックそのままの水彩のよくな巧みな色彩設計。これらをぜいたくに盛り込んだ『映像研には手を出すな!』こそが今年の覇権だ。落ち目のEUでもなければこの完全無欠の論理にまさか異論を挟もうなどと夢にも思わないだろう。

最後にひとつ。仲間とともに見る徹夜明けの朝日は美しい。ありがとう

アメリカ、禁じ手の特撮を選出

米大統領は大統領選挙の大勢が決まった15日、今年の覇権アニメに『ウルトラマンZ』を選んだとツイート。これに対し全米の民主党支持者が「それならあなたに投票していたのに」と嘆いた。

総会に先立って開かれた記者会見で、記者から「特撮はアニメですか?」と聞かれた大統領は、「ニコニコ動画でアニメにカテゴリーされていたからアニメだ」とニコ厨らしい回答を見せた。翌日のワシントンポスト紙が「特撮をアニメ扱いするとは、寝ぼけているのは彼のほ

うだったようだ」と一面で報じると、その日のうちに大統領はツイッターを更新。「フェイクニュース！」と猛反論した。

「もはや『ウルトラマンZ』は実写だのアニメだのといった枠組みを超えた傑作」。総会で大統領は力強く持論を展開した。

「まさかこの2020年にセブンガーがレギュラーとして再登場するなど誰が予想できただろうか。防衛隊のおもちゃが売れないから人類がロボット怪獣で戦う設定にすればいいという発想はまさにコロンブスの卵だ。怪獣から人間が逃げまどうカットもまったく合感らしさを感じさせない。

なによりも好感が持てたのは主人公であるハルキ、そして彼と一心同体となるウルトラマンZが、どちらも竹を割ったような性格のまっすぐな熱血バカだということだ。守りたいものがあるから戦うという、しつかり目的を定めて主体的に動く主人公はやはり見ていて気持ちがいい。ストーリーの途中でハルキは、怪獣を倒す行為がただ命を奪っているだけにすぎないのではないかと思いつつも、その苦悩を乗り越えて成長していく姿も素晴らしい。

ウルトラマン^{エース}Aの客演回では、48年の時を超えて格段にパワーアップした殺し屋超獣バラバのおぞましいまでの凶悪さにおののき、A兄さんは必殺技のAの異名を思い出させてくれるほど多彩な光線を見せてくれた。しかもA兄さんの声はかつて北斗星司を演じた高峰圭二氏。声が渋くなっている、Aのかけ声を担当していた納谷悟朗氏に声が似てきており、さらにAとの統一感が出ていた。

特オタにとって2020年といえばケムール人の年だが、54年前のトラウマを『Z』はこの年にみごとに再現してくれた。

このように昭和ホイホイの多い本作ではあるが、これまでウルトラシリーズを見たことがない、なんの予備知識のない新規でも、ハルキとZの熱血一直線ぶりのおかげで楽しく視聴できる点も高ポイントだ。まだ観ていない人がいたら何かのアニメを観るような軽い気分で視聴してほしい。『これはこういうものなんだ』とストーリーに没入できる工夫が随所にこらされているため、きつと有意義な時間となるだろう。

基本的に1話完結だから途中の回から観始めても楽しめる。これこそ今年を代表する傑作だ。私は来年の1月に大統領の職を辞することになっているが、最後の公務として『ウルトラマンZ』を覇権に選出できるとても光栄に思う。

それでは皆さん、ご唱和ください！ 我の名を！ ウルトラマン……」

と大統領がかけ声をあげると、各国首脳は左拳を高々と突き上げ、「ゼエーツトー！」

と叫んだ。

フランス すけべ心隠さず

「今年の覇権アニメは何かって、すでに1月の時点で決まっていたよ。『異種族レビュアーズ』だ。

世界は確実にハメる、いや破滅に向かっている。大手ポルノサイトから大量の動画が削除され、人間がもともと持っているありあまるエネルギーを発散する場がどんどん奪われているんだ。これは食べ物無理やり奪われたのと同じことだ。食べ物がなくなったら人はどうする？ 盗むほかはない。犯罪はそうして起こるんだ。これに反論したいのだったらポルノが氾濫している国より厳しく規制している国のほうが決まって人口あたりの性犯罪件数が多いことについてまずは貴重なご意見を聞かせてもらおうか。

人の業のみならず、今年は新型コロナウイルスの影響で同種族レビューもできなかつた。

『異種族レビュアーズ』はそんな混沌とした情勢下で生きていかざるを得ない我々に一筋の希望をくれた。人間、エルフ、天使、悪魔、ラミア、ミノタウロス、獣人、ハーフリング、サラマンダー、ゴレム、有翼人に単眼娘。古今東西のファンタジーに登場するあらゆる種族がここでは風俗店で働いている。種族ごとに興奮するポイントも常識も違うから面くらったりもするが、異文化との交流こそエンターテインメントだ。多種多様な種族と文字通り交わる本作こそエンタメの極北というべきだろう。

なにより本作ではどの風俗嬢、いやサキュバス嬢も楽しく仕事をしている点がいい。私は、売春婦や性的少数者を弱者として描く作品は嫌いだ。なぜなら、そういったステレオタイプ弱者像こそ、普通を自称する強者たちがマイノリティに求めている姿だからだ。強者たちは、いわゆる弱者が、社会や理不尽と健気に戦う姿を娯楽として消費したいにすぎない。だから弱者にも人間としての負の側面があることをけっして認めようとはしない。そして、弱者がなに不自由なく幸福な人生を送っていると過剰なまでに攻撃的な反応を示す。『そんなことはあるはずない。きみは絶対になんらかの差別をされているはずだ』と。強者にとつて、弱者は不幸で、抑圧されている存在でなければならぬ。そうして自分たちに優越感を提供するのが当然だと強者は信じ込んでいるのだ」

その風潮に『異種族レビューアーズ』は一石を投じたとフランス大統領は語気を強めた。

「本作で描かれているヒロインたちは風俗嬢であるが、彼女らはいずれもプロフェッショナルとして自らの仕事に誇りを持っている。プライドがあるから客も選ぶ。なにより彼女たちは仕事も含めて人生をめいっばい謳歌している。そのことがむくつけきPTAの逆鱗を尻で撫でることになった。娼婦はみんなやむにやまれぬ事情があつてその身をやつしていて、来る日も来る日も客の相手をさせられてムスコと辛酸を舐め、搾取されている、差別と格差の被害者であるはずだ、そうでなければならぬ、そんな思考停止の安っぽいテンプレートを、『異種族レビューアーズ』は風俗嬢たちが自らの意思で性を売り物にしている世界観によつて笑い飛ばしてみせた。勝手に自分より下の職業に就くしかなかったと哀れんでいた風俗嬢が、まともな人生を送っているはずの自分より遥かに充実している。ポリティカル・コレクトネスを標榜する連中にはそれがただただひたすら我慢できなかった。弱者であるべき売春婦が、差別も、強制も、搾取もされることなく自由であることなど、認めるわけにはいかなかった。だから奴らは『異種族レビューアーズ』を放送中止に追い込んだんだ。

では『異種族レビューアーズ』はポリティカル・コレクトネスに負け

たのか。それは断じて否だ。むしろ『異種族レビューアーズ』は、政治的正しさの美名を盾にして自分たちの価値観にそぐわないものを排除しようとする、醜い人間たちを白日の下に引きずり出すことに成功したのだ。生まれもった姿を最大限に活かして仕事にする。これはまさに人権活動家たちが理想として掲げてきた社会ではないか。しかしいざそれが実現された社会を提示すると彼らはとたんに眉をひそめ、目を背けようとする。そんな人間たちの矛盾を浮き彫りにした一点において、『異種族レビューアーズ』は“消されたら勝ち”を体現してみせたのである。

私はここで宣言する。職業や種族で差別などせず、むしろ種族の違いを特有の強みとしてみんなで遊んでバカをやる。そのために仕事をがんばる。『異種族レビューアーズ』の世界こそ全人類が目指すべき理想郷であり、同アニメこそ覇権アニメなのだよね」

インド首相 選んだのは『ID：INVADED イド：インヴェイデッド』

「最初に言っておくが、私はこの『イド』という作品をまだ完全には理解できていない。かれこれ3周したが自分がこのアニメを理解できたという自信が得られないのだ。いつそのこと下半身に身を委ねて『土下座で頼んでみた』を覇権に選ぼうかと投げやりになった日もあった。あと、インドがイドって”と笑われるのも避けたかった。『イド』は一言でいえばSFミステリーだ。この世界では殺人事件の現場には犯人の殺意が残留する。拳銃を使ったときの硝煙反応のよくなるものだろう。その殺意をデータ化し、殺意の世界“イド”と呼ばれる仮想現実を構築して、そこへ潜り込むことで真相を探るのが主人公の使命だ。サイコメトリの一種ともいえるだろう。そして“イド”に潜れるのは同族である殺人鬼だけ。つまり主人公も人を殺したことがあるわけだ。世界観設定がキャラの人生と有機的に連携して、綿密に張り巡らされた伏線とともに視聴者に超然として迫ってくる。情報量がすさまじいため1度の視聴ではすべての伏線を拾いきれなかった。これは2周目以降に真価を發揮するアニメだ。

まして1話を観ただけでは、ただ街がレゴブロックになつてたわけのわからないアニメとしか評価できないだろう。3話までで強烈なインパクトを残さなければ切られるこの時代、最終話まで観なければ魅力がわからないアニメを作る理由とは、ほかでもない視聴者への信頼だ。いいものを作れば視聴者はきつと最後まで見て評価してくれる、そう作り手が我々を信じているからだ。この信頼に応えずしてなにがアニオタか。

深層心理世界を視覚化した非現実的な映像、それ自体が伏線となっている会話、映像とともに“イド”を表現した音楽、それらから得られる情報は、1回流し見をしたただけでは全貌が掴めない。なにがなんだからわからないがとにかくすごい作品を自分は目撃しているという高揚感は確かだった。似たような感覚を私は以前にも味わった。『2001年宇宙の旅』や『攻殻機動隊 GHOST IN THE SHELL』をはじめて鑑賞したときだ。すなわち『イド』も無理に理解する必要はないのかもしれない。まずは新鮮な映像体験の海にたゆたうのがひとつの正解だろう。

私は頭を空っぽにするアニメが大好きだ。だが『イド』はその対極に位置する。今の時代にこのよううちの国の人口みたいにぎゅうぎゅうに詰まった高品質なアニメが作られたことを私は嬉しく思う。では私は4周目を観てくるのでこれで失敬。でもちよつと疲れたから『ヒプノシスマイク』を挟もうかな……」

ロシア大統領は遊びたい

クレムリンから参加したロシア大統領は本年度の覇権アニメに『宇崎ちゃん』は遊びたい!』を選んだ。

「私がおっぱいが好きだ。大きいおっぱい、または巨乳、もしくはスイカップ。勘違いしてほしくないが私は貧乳を差別する意図はない。おっぱいはその時点で満点だ。この世の奇跡だ。大きければさらに加点されるというだけのことにはすぎない。どちらが下かではなくどちらがより好きかという問題だ。」

私は八重歯が好きだ。KGB時代から何度も明言しているが肌色

の八重歯が特に好みだ。あの小さなパーツだけでそのキャラの性格がわかる優れたデザインだ。

では巨乳と八重歯の女の子はどうか？ 決まっている。大好きだ。宇崎ちゃんが2020年の女神であることは自明であり、よって本アニメが覇権アニメであることもまた完全な決定事項だ。

桜井くんと宇崎ちゃんの絡みを眺めているだけで1週間の疲れがスプートニクよりも遠くへ飛んで行った。娯楽とはかくあるべしと教えられた気分だった。

なお、宇崎ちゃんのNTR絵をインターネット上にアップした不心得者どもはすでにすべて住所を特定し、スペツナズを送ってある。年明けには世界へ朗報を届けられるだろう。よい新年を」

日本 選出はあのなろう原作から

天皇が即位し、疫病が流行り、鬼退治が流行り、稲作が流行った日本令和2年度は激動の一言だった。長期政権から引き継いだ新首相は覇権アニメに『乙女ゲームの破滅フラグしかない悪役令嬢に転生してしまった…』を選んだ。

「アニメには愛される主人公が不可欠です。『乙女ゲームの破滅フラグしかない悪役令嬢に転生してしまった…』、通称『はめふら』の主人公、五等分の猿知恵、BAKARINA、野猿、もといカタリナは、基本的に自分の破滅の未来を変えるべく行動します。しかしその方法が『土を耕して家庭菜園を始める』など、どこかズレていて面白い。それ以上に、彼女の気さくで朗らかで人から愛される性格が、登場人物たちだけでなく視聴者までも引きつけるのです。また、復讐やざまあ系でもないため、やさしい世界を望んでいる私にはうってつけでした。

彼女は本来の主人公ではありません。しかし、彼女の無自覚な内面の魅力が、周囲の人々が抱えていた闇に優しく光を当て、皆を前向きにしていたわけです。そんなカタリナにはまさしく主人公の資格がありました。主人公でない人間が、本人の努力で主人公になったことに大きな意味があると思います。私たちもカタリナのようにひた

むきに頑張っていれば、関わる人々を救う主人公になれることを示しているからです。これは日本の安全保障にも資するものであると、我々政治家も虚心坦懐に受け止めねばならないと、そう感銘を受けた次第であります。

同時に、『はめふら』をきっかけとして、なろう原作だからといってそれだけで評価の対象としないのではなく、あくまでも個々の作品を実際に視聴して判断するようになればと、かように思うものであります」

総会の最後に国連事務総長が総評した。

「世界はかつてないほどに分断されています。自分が世界から孤立していると感じるときもあるでしょう。そんなときは、アニメを観ましょう。世界のどこかには、あなたと同じ瞬間に、同じアニメを観ている人が必ずいます。あなたと同じように笑い、感動している人間がいます。アニメを観ることで、我々は繋がることができます。

いまだコロナ禍は収束の見通しが立ちません。しかしいつかトネルの出口が見えるときが来ます。一人で闇のなかを歩くのは難しいですが、あなたの隣には同じアニメが好きな仲間がいます。もう少しだけ頑張ってください。来年もきつと素晴らしいアニメが私たちを待っていることでしょう。アニメを愛するかぎり私たちは団結できます。

最後になりますが、国連事務総長としてではなく、一人の人間としてこの言葉を贈らせていただきたい。『あなたは孤独ではない』。来年があなたにとってよい年となるように」

としめくくると、各国首脳からは惜しみない拍手が送られた。

各国首脳、2021年の覇権アニメについて語る

各国首脳、ブースター接種でアニメへの情熱にもブースターか

社会現象を巻き起こした『新世紀エヴァンゲリオン』のリビルド(再構築)となる新劇場版4部作の完結編『劇場版シン・エヴァンゲリオン:—』が公開され、すべてのチルドレンが25年越しに卒業し、庵野監督ともどもエヴァの呪縛から解き放たれたメモリアルイヤーとなった2021年は、主戦場のテレビにおいても話題作がひしめき合う群雄割拠の1年でもあった。

2020年から続くコロナ禍で社会が混沌とするなか、各国首脳が悪びれもせずことしの覇権アニメを熱く語るニューヨーク国連本部で開かれた国連総会も、また混沌の様相を呈した。

ドイツ首相、推挙は『ウマ娘』自身の引退に重ね

「大好きなアニメの第二期には、9割の喜びと1割の不安がないまぜになっています。二期で外れ馬券を掴まされたアニメは少なくない」登壇したドイツ首相に各国の代表らが頷いた。ドイツ首相の言葉にPTSDを発症した南アフリカ共和国大統領が救急搬送される騒ぎもあった。ロイター通信によると、未だに『みなみけ〜おかわり〜』のダメージから立ち直れていなかったものと思われる。

「2021年は、2018年アニメの二期が目立った年でした。TVアニメの制作が放送日の2〜3年前からスタートすることを踏まえれば、私たちが一期を楽しんでいる頃には、すでにスタッフが二期の制作に取り掛かっていたと考えると、感慨深いものがあります。なかでも『ウマ娘 プリティーダービー』は、本家となるアプリより先にアニメが放送されたということでもネタにされることも多々ありましたが、作画と演出と脚本と演技、これらアニメのクオリティを支える基本的な要素がしっかり作りこまれていて、競走馬の美少女化というどうあがいてもイロモノにしかならない同作を由緒正しい熱血スポ根アニメに昇華させていました。あまりに素晴らしいアニメでした。

だからこそ、私には1割の不安があったのです。二期はこの一期を超えられるのか、と。しかも制作スタジオが一期で実績を積んだP・A・WORKSからスタジオKAIに交代。もしヒトラーがタイムスリップで帰ってきてても気にならないくらい心配でした」

これに国連総会会議場は爆笑の渦に包まれた。

「けれど、『ウマ娘 プリティーダービー Season 2』は私のそんな干し草よりも軽い不安を一陣の風のように吹き飛ばしてくれました。さらに洗練されたアクション、さらにテンポよく繰り広げられる掛け合い。栄光と挫折を繰り返したトウカイテイオーの、笑いと涙、そして魂を揺さぶる物語。

すべての台詞に元ネタがあるといっても過言ではないほどの高密度な情報量が私を？み込みました。3話でスぺちゃんの頭にケーキが乗っていたのは元ネタとなった年の阪神大賞典の開催が武豊騎手の誕生日の3月15日だったからで、しかもゴルシのとなりには実際のゴールドシップが大変懐いていた今浪隆利厩務員と思しき御仁が立っているという詰め込み具合で、そんなの言われなければわからないネタの宝庫でした。

そして、もはやスズカが生きただけでうれしい。たとえ出番の99%が画面越しでもスズカが全力で走れる世界が見られるだけで私の胸は幸福に満たされます。

なにより、トウカイテイオーの涙です。あんなに澄んだ涙を見たことがありません。こんな健気ない子を泣かせたり、ナイスネイチャをあんなに持ち上げるとして菊花賞で4着に沈ませたり、ようやくライバルのテイオーと戦えるというときに今度はメジロマツクイーンを故障させたり、原作者には人間の心が無いのかと憤りましたが、原作者は史実だったというどうしようもない現実にゲシュタポを復活させようとも思いました。“運命のいじわる”っていじわるってレベルじゃねーぞ。

けれども、彼女たちは挫けず、あるいは挫けても仲間を支えられながらただひらすら戦い続けます。それは走るという意味だけではありません。人間は誰しもが持って生まれた天命と戦う義務を負って

います。彼女たちはその義務を全うしました。その先には権利があります。自分の宿命から逃げずに立ち向かった者だけが見ることができる光景。それを目にする権利です。どうか世界中の人々に、彼女たちの見た光景がどんなものだったか確かめてもらいたい。

二期そのものへの不安、制作スタッフが変わったことへの不安を、トウカイテイオーの走りのごとくに振り切ってくれた『ウマ娘二期』こそが、真の覇権アニメです」

ルーマニア大統領 Y談おじさんに遭遇か

「吸血鬼はいつの世も創作のネタ元だ。『吸血鬼すぐ死ぬ』では吸血鬼が主人公だと聞いて、私はてっきりアーカードの旦那のようなすっげえ強い不死者が大暴れすると期待していたが、ドラルクくんは開始40秒で死んでいたよ」

ルーマニア大統領に英国首相は笑みを隠せない。英国首相はOVA『HELLSING』のエンディングでV2ロケットがロンドンの観光名所を次々爆破していく様子に貴族院議長ともども爆笑したことで知られる。

「われわれがアニメを観るのはさまざま理由がある。穏やかな気持ちになりたいから。現実を忘れたいから。尊死したいから。どれも正しい理由だ。私は「笑い」が欲しくてアニメを観る。『吸血鬼すぐ死ぬ』はまさに24分間の笑いを私に提供してくれた。さながら『銀魂』の流れを汲むハイテンション／ハイテンポコメディは、まさに予測不可能回避不可能の怒濤の展開で、腸捻転で救急車を呼んだことも一度や二度ではない。あまりにすぐ死ぬので、視聴を続けるうちにOPのステップで死にやしないかと心配になるほどだった。まだ観てない人においては、とにかく2話までは観て欲しいと強調しておきたい。むろん1話も十分に面白いが、本領発揮するのは2話からだ。うちの首相のように1話切りすることなく、ぜひ2話まで視聴して判断してもらいたい。あと、秋田書店はこわい。大統領おぼえた」

さらにルーマニア大統領は続けた。

「女性の蒸れた腋の下が好きだ。汗で蒸れて湯気がホカホカ見えそう

な腋に顔をうずめて深呼吸したい。腋の下の匂いを嗅がれて羞恥に染まる女性の反応をうかがいながら舌を這わせたい。しよっぱさと酸味とワキガの風味を味わいたい。あと、3日ほど入浴も着替えも禁じて、『ぼつかじやないの!?!』と罵られたい。そのあと、歯磨きはしてもいいのよね?』と訊かれ、なんだかんだ言って付き合ってくれる彼女の3日3晩熟成された体臭を胸いっぱい堪能したい。そして自分の濃縮された発酵臭を嗅がれる恥ずかしさに耐えている彼女の顔が見たい。やはり恥じらしいの表情こそが究極のエロスである」

ルーマニア大統領の目に迷いはなかった。AP通信によれば、大統領はルーマニアを出発する直前にY談おじさんの催眠術にかけられていたという。現在ルーマニアでは国民が猥談でしか会話できない状況が続いている。現地を視察したアムネスティ・インターナショナルは「意外と平和そうだったからほっといた」とし、事態の対処に当たっている国連人権高等弁務官も「私はヤンデレヒロインが好きなんじゃないって、ヤンデレヒロインに迫られて恐怖したり困惑したりする主人公を見るのが好きなんだ」と性癖を開示するに至った。専門家は、この猥談パンデミックはしばらく続くだろうと、誰でも言えそうな見解を示した。

ウクライナ ガス代も払わずキャンプ

若きウクライナ大統領がことしの覇権アニメに選んだのは、『ゆるキャン△ SEASON2』だった。

「2018年に私たちをソロキャンパーにした至高のアニメ『ゆるキャン△』が、3年の時を経て帰ってきてくれた。冬独特の澄んだ凍てつくような空気感、なでしことリンちゃんたちのゆるやかな関係。3年という時間など感じさせなかった。一期と二期の継ぎ目を感じさせない画面の雰囲気作りと声優陣の演技に感動を禁じえなかった。

個人的なMVPは、アヤちゃんこと土岐綾乃ちゃんだ。まさに原作と同じ声だった。『響け！ユーフォニアム』のときもそうだったが演技が自然すぎて本当に身近にいる女の子感がやばい。

同作は冬を舞台としたアニメだが、このアニメを観ていると、むし

る心が温かくなり、氷が解けていくような安らぎを覚える。いわば『ゆるキャン△』は、観る暖炉なのだ。この心温まる、それでいて押しつけがましくない温もりが多くの人々を癒すことを切に願っている。他国を侵略することしか知らないロシア大統領にも彼女らのゆるさを知ってもらいたいものだ」

これにアルメニアやベラルーシといった旧ソ連構成国の代表が領きかけて目をそらした。そのとき、固い音が何度も会議場に響いた。ロシア大統領がウクライナ大統領の演説を妨害しようと靴を脱いでテーブルに叩きつけていた。これにウクライナ大統領は「誰か今のロシア語を翻訳してくれないか」と発言して総会の笑いを誘った。

「そして別番組ではあるが、実写ドラマ版の『ゆるキャン△』も推しておきたい。とくに大垣。大垣が大垣してた。とにかく大垣が大垣だった。大垣の擬人化だった。あまりに再現度が高すぎて、実写版を観たあとアニメを観ると大垣が出るたびに笑ってしまう体になった。あんな前髪パツツンに黒縁メガネという出で立ちを120%こなしてみせた女優魂に最大限の敬意と称賛を送りたい。

まあ、ホロライブのペコーらの挨拶を「アーモンドアーモンド」だと本気で思い込んでいたロシア大統領がこのアニメのよさを理解するには、まず不老不死を手に入れるところから始めなければならぬだろうが」

としめくくった。

ロシア 宇宙大国のプライド

「全人類が不変の常識として知っていることとは思いますが、世界で初めて有人宇宙飛行を成功させたのは偉大なるソヴェエトだ。そのソヴェエトの正当な後継者たるロシアの大統領として、2021年の覇権アニメに『月とライカと吸血姫』を推挙しない選択肢はない」

元KGBのロシア大統領の口調は有無を言わさなかった。シベリアの氷河のような瞳の奥には、かつての超大国だったプライドがツアーリボンバのように燃え盛っていた。

『月とライカと吸血姫』は、地球によく似た星でよく似た歴史を歩ん

だ東西の超大国が宇宙開発競争にしのぎを削っている世界の物語だ。わがロシアの前身たるソ連をモチーフとしたツイルニトラ共和国連邦が、人類初の有人飛行に先がけ、犬のテスト飛行に成功するが、さらなるテストのため、犬よりも詳細に報告でき、かつ失敗しても人身事故にはならない、人でありながら人とは認められていない吸血鬼を試作ロケットに乗せることを決める。成功したとしても人ではないため、記録には残らない。失敗すればマニュアルに追記する血となるだけ。命を捧げるのに決して名誉のない任務に、同志イリナ・ルミネスクが挑む。そんな彼女のお目付け役に任命されたのが主人公のレフだ。レフは人間に心を閉ざしているイリナに人として寄り添い、ともに訓練に汗を流し、ともに感情をぶつけあい、ともに成長していく」

ロシア大統領は、イリナの声優に生きるレジェンド・林原めぐみ氏がキャスティングされたことにも触れた。

「イリナは単なるツンデレではない。彼女はツイルニトラに目の前で両親を焼き殺され、村を離れて人間の世界に連れてこられてからは犬以下のモノ扱いされてきて、なおそのツイルニトラのために人身御供同然のテストパイロットに志願し、反抗的どころか模範的な姿勢で訓練に取り組んでいるという非常に複雑な過去を持っている。その性格はツンデレという記号で表せるものではない。

それでいて、どこまでも献身的なレフを前に、もう一度信じてみようといリナの心が揺れ動く。これほど微妙な機微を表現できるのは、キャラの魂を自身に憑依させて演じることからイタコ声優とまで呼ばれる林原めぐみ姉貴しかいない。それは2話の水泳の訓練で「そんなわけないでしょ」というつぶやきで確信した。大御所声優を使うと、大御所使えばいいというもんじゃなど吹聴する不屈き者が必ず現れるが、イリナは林原めぐみ姉貴以外にはありえない。あと林原めぐみのツンデレは体にいい。そのうち寿命が延びるようになるだろう。

宇宙開発競争時代の遺風を感じさせてくれるのもこのアニメの魅力だ。私はZILL-151トラックが好きだ。炭酸水の自販機もよく学生時代に友人らと利用したものだ。世界に冠たる超大国の時代

を思い出させてくれると同時に、ロシアはこれまでも、これからも偉大であり続ける真の先進国であることを再確認させてくれた。

そして、サガレヴィツチ副長官だけは許さない。わが娘イリナへの無法の数々は必ず流血によって報いを受けることになるだろう。国による不法行為も同様だ。ウクライナはすみやかにわが国へガス代を払うべきだ」

これにはウクライナ大統領も苦笑い。ロシアのガスパイプラインの一部はウクライナを経由している。ウクライナはソ連時代から国ぐるみでこのパイプラインからガスを無断で抜き取ってきた。またロシアから正規に購入しても支払いを滞納することが現在に至るまで常態化している。

「ともあれ、12話において漢気を見せたレフに私の永久凍土が解けたことも事実だ。レフ・レプス少佐こそイリナを託すにふさわしい。願わくは、イリナとレフの二人が、オーナック連合王国に先んじて月へとたどり着かんことを。そして、オーナックなどこうだ」

ロシア大統領は隠し持っていたチーズバーガーを高く掲げると丸かじりしてみせた。アフガニスタン代表やイラン代表らから拍手が起きた。

「国家の政治と陰謀の渦中にあっても、人が人を想う気持ちは誰にも止められない。その厳然たる事実をあますことなく描いた『月とライカと吸血姫』は、ノエル団長のビジュアルを見てグランブルーファンタジーのキャラだと本気で勘違いしていたウクライナ大統領では理解の及ばない境地に到達している。偉大なるロシアと世界に栄光を。ありがとう」

中国、絶対王政への回帰なるか

「まず、2020年から続くパンデミックのなかにあつて、2021年もアニメ豊作の年にしてくれた制作陣に感謝する。われわれは資本主義をさらに高度に進化させた共産主義世界を目指す者として、順位をつけることをよしとしない。しかし、あえて本年の1位を決めるとするなら、それは『王様ランキング』であると断言する」

会議場には少なからず衝撃が走った。『王様ランキング』の世界では、世界中の王様が強さや国の豊かさでランク付けされており、王様ランキング1位を目指すことが王の責務となっている。純然たる階級社会の世界観は、建前とはいえ社会主義を標榜する中国とは相性が悪いと思われた。

「主人公である第一王子ボツジは巨人の子なのに体は小さく非力、しかも耳も聞こえずしゃべることもできない。たしかに、次期国王としては第二王子のダイダのほうがふさわしい」としながらも、「しかし、なぜ王様ランキング7位、強さだけなら1位のボツス王の息子であるボツジが短剣すら持てないほど非力なのか。この時点で強烈なフックとなって引き込まれる。なにか理由があるのか。そう考えているうちに、ボツジはダイダと剣の稽古をすることになる。剣の才能に恵まれたダイダに勝てるはずもない、そう思ったが、ボツジには類まれな別の才能があることが明らかになる。この高揚感の持っていていき方は驚嘆に値する。カゲと一緒に、そうだ、この子は本当はすごいんだぞ、と登場人物たちに自慢したくなる。

前後してしまつたが、このカゲがボツジと友達になる経緯が原作よりもさらに丁寧な描かれ、カゲがボツジと一蓮托生の仲になる理由がさらに納得のいく構成となっている。ボツジとカゲの友情のみならず、原作を上手くほぐして編み直す脚本はまさに匠の技だ。脚色ランキング第1位の称号を与えたい。

1話はさながら劇場版のようなクオリティだった。1話で引き込んで次週も必ず見せるといふ決意が画面の端々から感じられた。カメラがPANしながらキャラクターが動いていると劇場版のように見える。

そして2話はさらに上回り、3話はその上をいく。話数を重ねるごとに神回がインフレしていき、物語の行く末が気になってしょうがない。

ボツジとカゲのコンピはいうまでもなく、キャラがどれも魅力的で一筋縄ではいかない。嫌味ではあるが強くなることに一切の妥協をせず闇堕ちもしないダイダ。実はいい奴だったベビン。株が乱高下

するドーマス。愛おしいヒリング。諸悪の根源なのか哀しき悪役なのか判断のつかない鏡。

第2クルルの放送も決まり、ますます目が離せない『王様ランキング』こそ、2021アニメランキング1位であることはいうまでもない」

中国国家主席が最後に、

「もし現実世界で各国の首脳をランキングづけするとしたなら、わが中国が1位を獲得するのは歴然たる事実であることをここに確認しておきたい」

とくくると、台湾代表が「お前はこのアニメでなにを学んだんだ」と野次を飛ばす一幕もあった。

どけ！俺は大統領だぞ！ タリバン政権は『呪術廻戦』

電撃的な侵攻でアフガン政府を崩壊させ、政権奪取を果たした武装勢力タリバンは、国連総会にアフガニスタン・イスラム首長国代表として出席し、2021年の覇権アニメに『呪術廻戦』を選出した。同アニメは2020年10月から放送開始したが、第2クルルは2021年3月まで放送していた。

「まず『呪術』はそれ自体が覇権コンテンツであることを世界は理解すべき」と最高指導者。

「二介の少年がある日、世界を揺るがすほどの力を手に入れ、否応なく戦いの日々巻き込まれる。プロット自体は王道だ。だが、主人公の虎杖をはじめ、同期の伏黒と釘崎、自称最強でほんとに最強の五条、冷静なように見えて熱いななみん、なにより虎杖に取り憑いた特級呪物の両面宿儺、いずれもおそろしくアクが強い。

とくに宿儺。こいつの人格破綻ぶりにはアルカイダもびっくりだ。『ヴェノム』のように虎杖と宿儺がなんだかんだ悪態の応酬をしながらもいいコンビとなって呪霊と戦う、そう思っていた時期が私にもありました」

第2クルルが放送されたことしの覇権に選んだ理由については、「交流戦により、京都校の個性的な面々が登場し、ストーリーも本格的

に動き始めたことが大きい。オカルト漫画とは思えないほど自由なキャラ造形には驚かされる。なんだあのロボット。そしてブラザー。私もタツパとケツのでかい女が好きです。エリザベス・デビツキとか」

と性癖を暴露した。アフガニスタンにもY談おじさんの出現が懸念される。

オランダ 飾り窓に翻弄か 選出は『「鬼滅の刃」遊郭編』

『「鬼滅の刃」は今や押しも押されぬ世界的コンテンツです。原作が終了し、ポスト鬼滅ともいわれる『呪術廻戦』が台頭してきてもなお、その人気は衰えることを知りません。なぜなら、単純に面白いからです」

『鬼滅の刃』は、原作コミックスの第1巻から第7巻までを映像化した『竈門炭治郎 立志編』2019年4月から9月にか放送され、続編となる『無限列車編』は国内興行収入が約404.3億円、全世界の興行収入は5億300万ドルを記録し、2020年の年間興行収入第1位の座に輝いた。

『遊郭編』は、その『無限列車編』の続編。上弦の鬼が潜む遊郭へと赴く炭治郎らかまぼこ隊と音柱・宇髄天元の死闘を描く。放送に先立って劇場版『無限列車編』をテレビ放送版に全7話で再編集したテレビアニメ『「鬼滅の刃」無限列車編』が放送され、劇場版を観ていない視聴者にも配慮を見せた。

「遊郭。それは華やかな世界であると同時に、性産業に身を落とさざるをえなかった女性たちからの搾取で成り立っている悲惨な世界でもあります。『遊郭編』で戦う上弦の鬼・墮姫と伎夫太郎の兄妹は、そうした矛盾をはらんだ世界で泥水をすすって生きてきた弱者であり、被害者です。しかし二人はふとしたことから加害者になってしまいます。虐待された子供が親になるとわが子に虐待するように、被害者はそれゆえに加害者になることもある。その負の連鎖が『鬼滅』のテーマでもあります。この兄妹はそのテーマを色濃く反映したキャラでもあり、炭治郎と禰豆子のありえたかもしれない鏡でもあるので

す。

なにより、堕姫の声優があつた沢城みゆき氏なのだから期待せざるをえない。今からラストの仗夫太郎に背負われた堕姫の慟哭が待ち遠しい。そして二人に送られる炭治郎の、少年漫画の主人公としては異常ともいえるほどの優しく残酷な叫びも早く聞きたい。

まだまだ『鬼滅』旋風は終わっていない。無駄に脳を増やした男を倒すまで『鬼滅』のアニメは止まらない。覇権アニメは『鬼滅』に決まりだ」

日本 選出はまさかのストップモーションアニメ

「わが国は、本年度の覇権アニメ選出におきまして、『PUI PUI モルカー』を推挙することと一致いたしました。

『モルカー』は羊毛フェルトで作られた、モルモットのようなかわいい自動車「モルカー」が所狭しと走り回るストップモーションアニメです。アニメとあるのですからアニメです。監督のお姉さんなどの実写キャラも出演したりしますが、アニメです。

台詞がないにもかかわらず感情がダイレクトに伝わってくるサイレント映画のような作りですが、言葉がないからこそ、言語の壁を越えてメッセージを伝えてきます。

救急車のモルカーが患者を一刻も早く病院へ運びたいのに渋滞に巻き込まれて涙を流しているシーンでは、なぜか私も泣いていました。

銀行強盗にモルカーがジャックされてしまう話では、横断歩行を渡っていた歩行者がいるにもかかわらず強引に走らされ、歩行者を危険にさらし、モルカーとしての尊厳を踏みにじられたようで、涙が止まりませんでした。そして勲章をもらっても自慢することなく、本来のご主人を乗せて走ることのほうがよほど嬉しいさまに、夕陽が滲んで見えました。

一方で、空飛ぶサメ戦艦が出てきたり、ヘリの墜落シーンが一瞬スローモーションになってローターの回転する音だけが残るなど、カオスなストーリーと映画的な演出も目立っていました。わが国の官房

長官は無類のサメ映画好きなのですが、官房長官はその話数を「下手なサメ映画よりよほど出来たサメ映画」と絶賛していました。

モルカーの世界は毎回逮捕者が出るほど治安の悪化が懸念されていますが、現実の私たちがモルカーに見放されるような人間にならないことを、一人の人間として誓いたい、こう思うものであります」

各国代表の演説がすべて終了し、会議場はざわめきに包まれた。どの国も『無職転生　～異世界行ったら本気だす～』を推挙しなかったためだ。関係筋によると、「同作は間違いなく名作だ。どこの国もほかの国が推戴すると思っていた」ため、被るのを恐れて推挙を見送り、いわゆるアフロ田中現象が起きていたものと思われる。特別に国連事務総長が急遽登壇した。

『無職転生　～異世界行ったら本気だす～』は小説投稿サイト『小説家になろう』において長期間累計一位の座にいた、まさにネット小説の王者です。『小説家になろう』にはテンプレートという概念がありません。異世界転生、ナローロッパ、魔法、チート、ハーレム。これらのテンプレを激しく嫌う人々も多い。テンプレ要素があるだけで敬遠する層もいるでしょう。

しかし、テンプレという食材がダメなのではなく、すべては調理をするシェフの腕次第です。面白く書けば面白くなる、テンプレの有無は関係ない。それを『無職転生』は累計一位という形でこの上なく証明していました。

ゆえに同作のアニメ化は私の悲願でもありました。しかし、いざアニメ化が発表された際、私の心に影が差したのも確かです。クオリティを心配していたわけではありません。正直言うとアニメ化が遅きに失したという感はありません。『この素晴らしい世界に祝福を！』や『Re:ゼロから始める異世界生活』など、異世界テンプレを逆手にとった作品が先にアニメ化された現状では、テンプレを王道で極めた無職転生が旬を逃したのではないかと懸念していたのです」

だが国連事務総長は顔を上げた。

「私が間違いだった。シエクスピアが400年経っても名作であるように、本当に素晴らしい作品には遅すぎるということはないのです。」

かっこいいものはかっこよく、かわいいものはかわいく、美しいものは美しく、とにかく丁寧に。まさにアニメ界の大河ドラマとでもいうべきクオリティで描かれるルーデウス・グレイラットの第二の人生がそこで待っていました。

原作あつてのアニメであるとは重々承知ですが、文字で紡がれていた『無職転生』を、アニメ版はさらに一段上の芸術へと押し上げることに成功していました。まさか居合い抜きで星虹が見られるなど思ってもいなかった。小説版をウェブで読んでいたあの初見のころのワクワクと興奮までも再現してくれた。アニメスタッフには感謝しかない。

杉田智和氏の貢献も大きい。彼の独特な声と語り口のおかげで、姪の裸の写真でブリッヂオナニーするクズニートだった主人公のキモさとクズさが愛すべきバカへと昇華されています。『無職転生』がアニメ化するこの時代に杉田氏が声優という職業に就いてくれたことを神に感謝したい。

あと、私もデイズイー使いなので、デイズイーの風評被害だけはなんとしても食い止めたたい」

最後に事務総長は国連総会をこう総括した。

「未だに新型コロナウイルスの猛威はとどまることを知らず、それどころか新たな変異株までが牙をむいています。しかし、われわれはウイルスには負けない。ウイルスごときではわれわれがアニメを楽しむことを邪魔することはできない。」

私は新型コロナウイルスに宣言する。2022年も人類はさらに面白い神アニメを作り、われわれは毎週テレビの前で、PCの前で、スマホで、それらを楽しむだろう。お前たちではわれわれから笑顔を奪うことはできない。われわれにはアニメがある。どれだけお前が変異を遂げて悪あがきをしようとも、世界中の人間がアニメを観ているかぎり、おまえが勝利を収めることはできないと。そう、人類には常

に「来年」があるのだ。
だから私はこの場にいる各国の代表と、中継を見ている人々に言うのだ。

——よい新年を」

英国議会在が2022年冬の覇権アニメを決めるよう
です

舌が三枚あるのに料理の味がわからないかつての大国イギリスで
5月30日、同国2022年覇権アニメ選出の予備選となる冬アニメ
覇権選出会議が開かれた。庶民院（下院）での議論は白熱し、議事堂
近くを流れるテムズ川が沸騰していると聞きつけたロンドン市民が
ティーバッグを川に落とす光景も見られた。SNS上では「最近のイ
ングランド人は川と港の区別もつかない」と嘆くウェールズ人のコメ
ントに「ウェールズにインターネットなどあるはずがない。おまえス
コットランド人だろ」「ウェールズを馬鹿にしてやるなよ。空と森な
らいくらでもある」と返信がつくなど、選出論争は早くも場外乱闘の
様相を呈している。

首相 神アニメに恋をした

ハリケーンの中を歩いてきたようなぼさぼさ頭の首相が登壇する
や否や、議場は野党議員らによる罵声大会に早変わり。議長の
「^{オーダー}静粛にー」の制止にも聞く耳を持たない。英首相は2020年6月、
新型コロナウイルス感染拡大を受けて実施した事実上のロックダウン中に、ど
う見てもただの集合住宅にしが見えない首相官邸で自身の誕生会を
開催していたことが明らかになっている。首相についてはその後も、
国民の行動が厳しく制限されていたロックダウン中、官邸などでポケ
モンアルセウスやエルデンリングに夢中になっていたことが相次ぎ
発覚しており、与党・保守党からも首相に辞任要求が出される事態に。
一連の騒動については首相が「アルセウスは仕事のうちだと思ってい
た」「誰も公務中にラニといちやつくのがいけないことだと教えてく
れなかった」と釈明しながらも、おわびとして屋外でのマスク着用義
務を撤廃。消息筋は「北風と太陽のつもりさ。本音では黙らせたいが
マスクを外させればかえって黙るだろうという魂胆が透けて見える」
と痛烈に非難した。

「われわれ保守党は、2022年冬アニメの覇権に『その着せ替え人形は恋をする』を謹んで推挙します」

首相のその一言で、野党議員らはいっせいに黙った。アニメのタイトルを野次で汚すことはイギリスの不成典憲法で慣習的にご法度とされている。

「このアニメの表層は、オタクに優しいギャルのテンプレをなぞっています。ですがわたしは断言しなければなりません。オタクに優しいギャルなど存在しない。①ギャルは人間である。②オタクなどという自分本位な存在に優しくしてくれる人間など存在しない。③よってオタクに優しいギャルは存在しないという反証が成り立つわけです。では『着せ恋』は？ ギャルがオタクだった」

これには何度も頷く議員の姿も見られた。『その着せ替え人形は恋をする』は、雛人形の顔を作る専門の職人「頭師」を目指す内気な男子高校生・五条新菜が主人公。ある日、五条くんはひよんなことから、スクールカースト上位のクラスメイト・喜多川海夢がひそかにアダルトゲームのキャラクターになりきるコスプレを趣味にしていることを知り、彼女にコス衣装を作るのを手伝ってくれないかと頼まれる。カースト上位と下位、エロゲオタクと非オタ、住む世界の違うふたりがコスプレというひとつの目標に向かって切磋琢磨するラブコメデーだ。

「ピアスを開けまくっている陽キャのギャルが重度のアニメエロゲオタク。もうこれだけで優勝です。ギャル特有の異様に近い距離感でわたしの髪の毛も見ての通り思わず逆立ちました。あの見た目で恋愛はクソ雑魚というギャップもたまりません。海夢ちゃんの胸の谷間に流れる汗には宇宙の真理が詰まっている。わたしはあれを見てロククダウン解除を決めました。海夢ちゃんに声を当てている直田姫奈氏の好演もイエスでした。こんな性癖歪ませてくるかわいい声の女性が保母さんやってたんだと思うとまだまだ世界は捨てたもんじゃないと希望が持てます。巷では海夢ちゃんが早くも2022年アニメヒロイン金メダリストとの呼び声も高いと聞きますが、それも納得のかわいさです。」

だがわたしはあえて言いたい。『着せ恋』のヒロインは海夢ちゃんではない。彼女はむしろ主人公です。ヒロインはごじよー君。ごじよー君のかわいさに気づいたときこそ『着せ恋』の真髄を理解したときなのです」

転換点は、新菜が仕立てた初のコスプレ衣装を海夢が着てふたりでイベントに参加した5話ラストだ。それまではおもに新菜視点のみで物語が進む。しかしイベントを終えた帰りの電車の車中、新菜のあの一言で、海夢は彼をはつきりと異性として意識する。以降は海夢視点でいかに彼女が新菜に恋をしているかがこれでもかと描かれる。コスプレ衣装版プロジェクトXだった物語は、ストリートに想いを伝えられない海夢の空回りっぷりと、彼女の肢体に年相応の男子の反応はしつつも自分に価値があるとはまったく信じていないがゆえに海夢の好意をごく自然にスルーしてしまう新菜との、もどかしくも微笑ましいラブコメがトツピングされていく。

「見ていて応援したくなるのが主人公の必須条件です。ならば、海夢ちゃんが主人公でごじよー君がヒロインという構図になんら疑問はありません。海夢ちゃんのために『聖♡ヌルヌル女学園 お嬢様は恥辱倶楽部 ハレンチミラクルライフ2』をゼロから勉強し、寝る間も惜しんで黒江雫さんの衣装を作り上げたごじよー君を、海夢ちゃんが落とす、これだけが今のわたしの願いです」

作画厨として名高い首相は映像面のチェックも抜かりない。

「本作アニメはとにかくよく動く。これはまさに原画マンを始めとした作画スタッフの“動き”に対する執念のたまもの。全身で感情を表現する海夢ちゃんがまさにアニメイテッド（命を吹き込むの意）されていた。これが週一のテレビアニメだなんて信じられない。表情が豊かな女の子はやはりかわいい。じいさんが笑うだけのカットでも同じ動きを繰り返して笑うのではなく、微妙に後ろにのけ反りながら笑ってる。海のシーンも素晴らしかった。あえて海の彩度を落とすとして、ローレンス・アルマ・タデマの透明水彩画のように描かれた海は、きつと天国でもみんなの思い出として語られるだろう。トーマス・ヤーンとティル・シュヴァイガーにもあの海を見せてあげたいね。

陰キヤと陽キヤの違いこそあれ、ごじよー君も海夢ちゃんも、アイランド人がじやがいもを愛でるように、相手を思いやる気持ちで当たり前のように持っている。やはり、陰キヤに優しいギャルなどという都合のいい妄想は存在しなかったのだ。海夢ちゃんが陰キヤに特別優しかったわけではない。ごじよー君が相手を一人の人間として敬意を払える人格者だからこそ、海夢ちゃんも惚れちゃったのだ。良質な作画で紡がれる彼女らの物語を最後まで堪能してほしい。EDも隙なくかわいいので、気の長いことが数少ない取り柄のわれわれは、その貴重な美徳を捨てることなく、最後まで視聴するべきであろうと思われる」

最後に首相は警鐘を鳴らした。

「でもさすがに冒頭に海夢ちゃんが頭を机にぶつけたのは危なすぎる。炭治郎でもないかぎり真似はしないほうがよさそうだ」

労働党 セーラー服発祥地のプライド

労働党代表は2022年冬アニメの覇権に『明日ちゃんのセーラー服』を推した。母の母校のセーラー服に憧れた明日小路ちゃんが念願かなって入学を果たし、その純粋な人柄でクラスメイトと交流を深めていく日常系箱庭アニメだ。

「賢明なる諸議員におかれましては、かの国で女子生徒の制服に採用されているセーラー服の起源が、世界に冠たるわれらが英国海軍の水兵服にあることはご存じかと思われます。なぜ女の子が水兵の服を？ 答えは簡単。あんなだっせえ服を着せときや悪い虫なんかつかないだろうという、実に日本的な麗しい親心から制服に採用されたのです。セーラー服は避妊具としてうってつけだったというわけですよ」

これには議会も笑いに包まれた。イギリスの不肖の弟アメリカの陸軍では、顔面偏差値の高い女性は入隊時に牛乳瓶の底のような伊達眼鏡を支給される。この眼鏡は「避妊用眼鏡」と通称されている。

「しかし、もはやセーラー服は避妊具ではない」と労働党代表。「セーラー服の女子中学生が好きじゃない男など男ではない。一ヶ月前までランドセルを背負っていた女の子が、真新しいセーラー服に袖を通

す、これこそ罪深き人類が生みだしたたったひとつの善行なのです。母が手縫いで仕立ててくれた憧れのセーラー服。しかし、その学校では指定制服はブレザーに変更されていた。ブレザーのクラスメイトのなか、明日ちゃんだけがセーラー服で浮いている。面接で「あなたらしい服装でお越しください」とあったのでスウェットで行ったらほかのみんなはスーツだったあの日を思い出しました。もし、一人だけセーラー服だという理由で明日ちゃんがいじめられ、お母さんの手作りのセーラー服がずたずたに切り裂かれたり落書きされたりしたら耐えられない、そんな不安と恐怖と戦いながら視聴を続けました。まったくの杞憂だった。ゼロ年代の胸糞エロ漫画みてえなキャラデザインだと思った自分の口にマーマイトを押し込みたい」

同アニメでは作画も大いに注目すべきポイントだったと労働党代表は語る。

「まさに作画の鬼。明日ちゃんの髪からは、思春期の少女特有の清潔な石けんのような香りと、甘酸っぱい汗の匂いが漂ってきそうである。きらきらと輝く田んぼの水。山々の間に沈む夕日のノスタルジー。教室に舞う塵埃じんあいのきらめき。そして家のなかの温かい空気感。釣った魚を「アブラハヤっほいな」と思っていたらほんとにアブラハヤだったときには、自分の目を褒めてあげたかったが、よく考えたらアブラハヤをちゃんとそれとわかるよう作画するスタッツの貢献によるところだと思直した。

そして、なんとといってもセーラー服の作画だ。明日ちゃんが憧れていただけあって、そしてお母さんの愛が込められているだけあって、見れば見るほど視力が上がるくらいに美しい。しわの一本一本まで愛おしいよ。海軍のだっせえ水兵服がかくも聖骸布のごとき神々しいフェチズムに昇華されるとは、わが国の女子生徒の制服もセーラー服にすべきではなからうか？」

なお、英国におけるセーラー服の学校制服導入については、国民からの「ださすぎる」「殺す気か」「囚人に着させろ」という強硬な反対で断念している。

『あしたちゃんのセーラー服』だと思っていたら『あけびちゃんの

セーラー服』だった。それで第2話サブタイトルの「また明日」を「またあけび」だと思っていたら「またあした」だった。記号のごとき言語を母国語とする我々には日本語の奥深さに舌を巻くばかりだ。3枚でも4枚でも巻けるよ。

ついでにいうと、私も足の臭い女の子が好きだ。『信天翁航海録』の双子とか。フェチは地球を救う。3話なんかいきなり腋のアップから始まる。昼間は制服をかつちり着込んでいる女子生徒が寮の部屋では裸足でリラックスしているギャップがたまらない」

保守党も黙ってはいない。「ひかがみの尊さを忘れるな」「ポニーテールの後れ毛の素晴らしさを理解できないとは」「うなじを流れる汗にも人権はある」「明日ちゃんのへそが見えていない役立たずの目など捨ててしまえ」野次の嵐に、議長が「静粛に！^{オーダー} 静粛に！」と口角に泡を飛ばして繰り返した。なおも飛び交う罵声で演説は一時中断し、議長がいつものように学級崩壊状態の議場をこうたしなめた。

「僭越ながら、わたしは経済についてはギリシヤ人ほどの見識を持っています。しかしながら本議会に「見えざる手」が働いて自然にあるべき姿に落ち着くだろうなどと考えるスコットランド人のような楽観主義者ではありません。いいですか、明日ちゃんや彼女のクラスメイトたちには元気いっぱい書いてほしいですが、自分のこのひらにご自分の年齢の数字を書いて、あなたたちがその数字にふさわしいふるまいをしているかどうか考えてごらんなさい。みなさんの脳みそはそのお顔と違ってしわくちやのはずです。ハンサード（議会速記録）にはあなたたちはいつもどおり「名誉ある諸議員」と記されるでしょう。職務に忠実な速記者にうそをつかせたいなら別ですが、幸いにもそうでないのなら、どうか静粛に」

同作は主人公の明日ちゃんの気持ちいいキャラクター性が高く評価されている。明るく、朗らかで、自分にも他人にもうそをつかず、ひたむきに努力する。そんな明日ちゃんに登場人物たち同様に惹かれる視聴者が後を絶たない。

「クラスメイトたちは、ささやかではあるが誰もが小さな悩みを抱えている。その悩みを明日ちゃんはその持ち前の明るさで蒸発させて

くれる。彼女の圧倒的上昇気流のおかげで、うつむいていたキャラが上を向けるようになる。だからみんな明日ちゃんと友達になる。明日ちゃんと出会えたことを彼女たちは生涯の誇りにするだろう。なぜなら、明日ちゃん本人が、彼女たちと出会ったことを誇りにしているからだ。やっぱり天真爛漫なかわいい主人公が無自覚に周囲を落とすしていく百合は最高です。その集大成となる12話は、神回をすら超えている。『明日ちゃんのセーラー服』は、神話だ」

また労働党代表は、同アニメで描かれる人間関係や家族像に注目する。

「子どもが賞状をもらって帰ったら褒める。たったこれだけのことが子どもにとってどれほど嬉しいことか。褒めてほしいことで褒めてもらったら、子どもは自分の親を世界一の親だと自慢できるのだ。」

明日ちゃんを含めたこのアニメのキャラは、なにかしてもらったら必ず「ありがとう」と感謝の言葉を口にする。アヘン戦争やじゃがいも飢饉のことは忘れてもよいが、ありがとうの気持ちは決して忘れてはならないということも明日ちゃんたちは教えてくれた。惜しむらくは、われわれ英国人がせっかく「ありがとう」と言っても、なぜかそのままの意味では受け取ってもらえないことだ。ご清聴ありがとうございます」

歴史への敬意 800年越しのアニメ化

アストルフオで抜いてるけどホモじゃない党、略してアホ党は、覇権候補に『平家物語』を推薦した。明らかに『逃げ上手の若君』の北条時行がらみの選出に、同党首の私情が多分に混じっていると議会は紛糾。またも会議は一時中断を余儀なくされた。

巨乳巨尻エルフを許さない党の党首が、議長権限で選出却下するよう議長に要求したが、議長は毅然と請求を棄却した。

「大変恐縮ですが、乳尻エルフ党党首の請求は時間と酸素の無駄であり、牛のげっぷよりも価値が認められません」と議長。「人権とは、どれだけキモい相手の、どれだけ気に入らない意見であつても口を塞いでではない、そういう忍耐強さ、すなわち理性の結晶なのです。た

とえ時行のさらさらした黒髪とぶにぶにのほっぺ目当てにジャンプを毎週買うようなシヨタコンであつても人権は尊重されねばならず、彼の口を塞ごうとするものの口をこそ私たちは塞がねばなりません。いいですか、皆の合意が容易に得られないときにこそ、議会の意味があるのです。われわれは辛抱強くお互いに耳を傾けあい、地道に妥協点を探り、最善を尽くすほかないのです。ドイツ人のように誰か一人に任せつきりにするのはとても楽で魅力的だが、ベストな方法とはいえないのです」

議長に促されたアホ党党首は、議長に礼を述べ、演説した。

「800年。平家物語が原作完結からアニメ化までにかかった時間です。アニメ化に要した期間でいえばおそらく高畑勲の『かぐや』と一二を争う気の長いコンテンツ。平家物語を基にした漫画かなにかをアニメ化したのではなく、平家物語そのものからアニメを起こした意欲作だ。

日本通の友人に、「原作ではどのキャラが死ぬのか」って訊いたんだ。そうしたら、「今はもうみんな死んでるよ」って言われたんだ。権力に固執するうちの首相みたいなトップ、そのトップの正当性のために利用されるうちの王室みたいな帝、お家のために意に沿わぬ戦をさせられる子供たち、運命に翻弄されながらも懸命に生きようとする人々。ここには普遍的な人の世の悲しみと切なさが込められている。琵琶とともに語られ諸行無常を訴えてきた、血肉ある物語だ。

その語り部はその名も「びわ」。史実には存在しないオリジナルキャラクターだが、彼女はその名が表すとおり、『平家物語』というアニメを視聴者の目の代わりに登場人物らと同じ地平で見つめ、同時に俯瞰する、現代の琵琶法師の役割をもつ。びわというどう動かすも自由なキャラの視点を通すことで、平家の武士や女性たちがただ原作どおりの台詞を喋るだけの人形ではなく、ささいなことでも笑ったり怒ったりしていた普通の人間だったことが実感できる。

空想や異世界ではない、この世界で、確かに彼らは生きていた。月に酔い、笛を奏で、人を愛し、そして血を流した。彼らと私たちは一続きで生きている。考えてもみてほしい、800年も前の出来事が、

むろん一言一句違わずとはいわずとも、その名と成し得たことが現代に至るまで伝えられている。これこそが文化的豊かさだ。国が滅んだり、新政府以前の文化を徹底的に破壊したりしていたら、この平家物語も焚書か散逸の憂き目に遭っていただろう。これはとりもなおさず、先祖が代々文化を継承し続けてくれたからにほかならない。私たちにできることは、次の800年まで文化を伝えていくことだ。平家の栄枯盛衰が今に伝えられているのは、神さまが与えてくれた奇跡ではない。先人たちの努力だ。ならばわれわれがその努力をしなくてよい理由などない。

OPの始めに画面の右上に黒い点が一瞬浮かぶのも、昔の映画のチェンジマークを彷彿させ、心地よいノスタルジーに浸る効能もあった。OPの歌詞が盛大なネタバラシだがどうせみんな結末を知ってるだろうという思いきりも心地よい。日本昔ばなしを思わせるキャラクターデザインも、平家と源氏の戦いを語る上で避けて通れない生々しさを程よく緩和するのに一役買っている。

名作には偶然さえ力を貸す。シャーリーズ・セロン主演の『モンスター』冒頭では台本に雨とは書かれていなかったが、撮影直前に雨が降り始め、続く展開と登場人物らの運命を暗示する名アバンとなった。『平家物語』では、クライマックスとなる壇ノ浦の戦いを描く回が、地震による放送延長で実際に壇ノ浦の戦いがあった3月24日に放送となる奇跡が起きた。放送後に月を見上げ、あの月もきょうの私と同じ戦を800年前に見たのかと感慨にふけた。これこそが諸行無常だと思ひ至り、私は涙を抑えようもなかった。娯楽作品であると同時に、時代を越えて耳から耳へと伝えられてきた、勝者にして敗者たちの歴史でもある『平家物語』が、覇権の名にふさわしい」

スピーチが終わると、巨乳巨尻エルフを許さない党の党首も惜しめない拍手を送った。のちに同党首は『エルフさんは痩せられない』を全巻所持していたとして党員から異端審問にかけられた。

バディものの極北 錆喰いビスコ

いまだきマルクス・レーニン主義を掲げるイギリス共産党は『錆喰

いビスコ』を推挙。同作の原作は2019年「このライトノベルがすごい！」では史上初の総合・新作の両部門で1位を獲得する快挙を成し遂げた。本作は人間を含むあらゆるものが錆びてしまう「錆び風」と呼ばれる現象により荒廃した近未来の日本が舞台。その錆び風を発生させている諸悪の根源と目されるのが突然変異的に巨大化したキノコで、このキノコを各地にばら撒いている「キノコ守り」がテロリストとして忌み嫌われているが、実はこのキノコは「錆び」を食べべて浄化する能力を持っており、キノコ守りたちはむしろ世界を錆びから救おうとしていたのだ。このコペルニクスの転回を、共産党党首はこう断言した。

「ナウシカだ。本作は宮崎駿監督の出世作『風の谷のナウシカ』の腐海と蟲の設定を受け継ぐ系譜に連なる、いわば子孫のようなもの。勘違いしないほしいが、けっしてパクリなどと非難しているのではない。これはオマージュでありリスペクトであり、作品という遺伝子の継承である。矢を射ったらでかいキノコが生えてくる外連味（けれんみ）あふれる絵面はまぎれもなく、作者の味だ。巨大なカニの乗り物、山にある寺だと思っていたら山自体が巨大な怪獣だった生物兵器など、この作品でしか見られない光景も盛り沢山だ」

なによりもキャラの秀逸さが目を引くと共産党党首。

「主人公のビスコは、粗暴ながら純粋な心と愛すべき稚気の持ち主。ミロは見た目完全に女の子のジャパニーズトラップだが錆びの病から人を治したいという一貫した信念と確かな手腕をもつ美少年。まさに凸凹コンビ。古来コンビとは凸凹でなければならぬという鉄の掟を遵守しつつ、なりゆきでバディを組むことになった二人が、錆びから大切な人を救うという共通の目的のため、様々な障害を乗り越えながら絆を深めていく本作は、男と男のバディものからでしか撮取できない栄養素を提供してくれる。ミロの姉であるパワーのキャラも素敵だ。治安維持部隊なのに鉄パイプで路面引っかけながらバイクで爆走する恐るべき猛者。普段はクールビューティーなのに弟のことになると我を忘れるお姉ちゃんキャラ大好物です。

設定は奇抜に、物語は王道に。このラノでダブル1位になったのも

納得の作品だ」

アニメでは、原作の時系列を入れ替えるシャッフル形式が採用された。

「シャッフル形式。それは使い方を誤れば作品そのものを破壊してしまう諸刃の剣。ここにいる議員のみなさんも愛する原作をアニメで時系列シャッフルされて涙を呑んだものも少なくないはずだ」

議員たちの何人かが深刻な顔で頷いた。なかにはトラウマを発症して「猿……鳥……犬……」と真つ青な顔で呟く議員もいた。『錆喰いビスコ』もまた序盤で時系列をシャッフルしており、視点も頻繁に変わるため批判の声も多い。

「だが私はあえて言う。『ビスコ』のシャッフルは成功例のひとつである。原作通りに進めていては、20分しかない1話に、もう一人の主人公であるミロが登場できない。このアニメはビスコとミロの物語であり、最初にこの二人を映さなければバディものとしての趣旨が伝わらないおそれがあった。また、1話の時点でミロの視点を多く盛り込んだことで、錆びやキノコに対する一般人の認識を序盤で視聴者が共有し、ビスコの異端ぶりがより引き立つ効果もあった。手法自体を用いることが目的と化している主客転倒が多く見られる時系列シャッフルであるが、『ビスコ』ではむしろ必要な方法として採用されたと断言してよいだろう。批判を恐れず、本編20分のTVアニメというメディアに落とし込むためにあえてシャッフルを使ったスタッフに敬意を表したい。

むろん、本アニメで注目すべきはシャッフルではない。錆び風によつて砂漠化した群馬、生き残った人々が身を寄せ合い無秩序で歪ながらも発展を遂げている忌浜の街並み、そこに聞こえる「二つで十分ですよ」の声。この無国籍具合の混沌ぶりがたまらない。ポストアポカリプス、ディストピアものでありながら、そこに息づく労働者たちは彼らなりに今を生きている。アニメとは、ここではないどこかを見せてくれる魔法だ。『ビスコ』の魔法はわれわれの目をわれわれの体から離れさせ、ここではない世界とそこで繰り広げられる血沸き肉躍る生存競争を見せてくれた。

よって、わが党は『ビスコ』を2022年冬アニメ、そして2022年覇権アニメの候補に推すものである」

スローというよりヘビーな百合釣りアニメ スローループ

コロナ禍で空前のブームとなっている釣り。密を避けられる趣味として注目が集まっているが、同時に釣り人のマナーに関するトラブルも増加している。自身も釣りを趣味とするユーリ・ダイスキツシンジャー議員は登壇するなり、

「断言していいが、釣り人には撮り鉄レベルでマナーが期待できない」と切り出した。

「釣り人はごみは落としても金は落とさない」。釣りの名所ではどこでも言われる言葉だ。進入禁止の危険な波止場で釣り糸を垂れる恥知らずも、まさに「その思念の数はいかに多きかな。我これを数えんとすれどもその数は砂よりも多し」だ(旧約聖書『詩編』139節)。地元住民が耐えかねて釣り禁止になった釣り場も多い。場所取りを巡って殺人事件が起こるのも日常茶飯事だ。

そこに燦然と降臨したアニメが『スローループ』だ」

同作は、フライフィッシングを趣味とする女子高生ひよりが、釣りを通じてさまざまな人々と交流を深めていくきらら系漫画だ。

「オッサンがやつてることを女子高生にやらせるアニメはヒットする」とはいうが、フライとは渋い。かつてコロコロコミックで連載されていた『スーパードライフィッシング グランダー武蔵』でもルアーだった。陰キャのひよりちゃんとその渋いフライで釣りをしていたある日、やたら明るいコミュ強で巨乳の女の子、小春と出会う。ここだけ見るともうほとんど『ゆるキャン△』の釣りバージョンに思えるが、その浅はかな考えは釣られた魚のようにすぐさまめられてしまった。このアニメは、重い」

ひよりがマイナーな疑似餌であるフライを使っているのは、亡き父親の影響だ。1話では、憂うつな表情で釣りをしていたひよりはその夜、母親の再婚相手とその連れ子と顔合わせがてら食事に行く予定だった。暗い顔も当然である。しかし、小春もまた、その日に父親の

再婚相手とその連れ子と食事会が予定されていた。ひよりと小春は姉妹になった。

「多感な10代の女の子に新しいパパ・ママができるという、第1話とは信じられない重さ。下手したらグレてもおかしくはない。だがひよりには小春が、小春にはひよりがいる。二人は釣りで親交を深め、交友関係も広がっていく。そして、欠かせないのが吉永恋ちゃんだ。ひよりの幼馴染という正妻ポジションにして常識人の恋ちゃんとハイテンションな小春、この三人の関係がなによりも尊い。ひよりと恋ちゃんの熟年夫婦みたいな関係もおいしく、ベテランの恋ちゃんと初心者の小春ちゃんのコンビもおいしく、三人揃うとそこはもう桃源郷。声優も素晴らしい仕事をしてくれた。個人的に第7話の恋ちゃんの「力加減を何回もやっていけばわかってくるよ」がMVP台詞だ。恋ちゃんがきっかけでイギリスでも八重歯が市民権を得る日にくることを願ってやまない。ほかに、二葉ちゃんと藍子ちゃんのペアもたまらない」

複雑な家庭環境のなかで、家族とはなにかという問いも投げかけられる。

「連れ子同士の姉妹。再婚相手。赤の他人とひとつ屋根の下で暮らすのは決して容易なことではない。だがひよりと小春、その母と父の4人は、互いに思いやり、家族になろうと能動的に努める。それが結実するのが7話だ。ひよりと小春は、再婚の結婚式を挙げていない両親のためにささやかな式を計画する。小春が一人で釣った魚をメインディッシュに使った手作りのコース料理で、結婚おめでとうと伝えるのだ。これほど嬉しい結婚式があるものか。このシーンには重要な示唆が含まれている。家族とはなにか。血の繋がりだけが家族なのか。ノーだ。互いが互いを尊重し、愛してさえいれば、血が繋がっていなくともそれはもう家族なのだ。

現実では殺伐としがちな釣りとは本来こうあるべきであるという面白さを再確認させてくれた。さらに家族という最も身近な他人のひとつの理想を見せてくれた。観るものの心を浄化してくれる『スロールドール』こそが、今期の覇権アニメである。では、『スロールドール』

が覇権の栄冠に輝くことを願って、ここでティータイムという
ユーリ議員はお茶を注いだカップを高々と掲げた。

「MUGI tea!」

各国首脳が2022年の覇権アニメを決めるようです

国連総会 一般アニメ討論演説 はじまる

日本時間12月31日朝(ニューヨーク時間12月30日)、各国首脳による2022年覇権アニメを選出する一般アニメ討論演説が悪びれもせず開始された。

新型コロナウイルス感染症との戦いも4年目に突入しようとしているほか、仮想戦記でさえありえないほどの出来事が重なったことしは、アニメもまた例年にならない粒ぞろいの傑作がかつてないほど集中した年でもあった。民間シンクタンクは「アメリカ全土が記録的な寒波に襲われているが、ことしのアニメは最初から最後まで豊作だった。雪をも解かす白熱した議論が予想される。地球温暖化が深刻化すると思われる」と警鐘を鳴らした。

なおロシアはハブられた。

英国首相「バランスが重要」

「まず、私の前任者に感謝を述べたいと思う。なにせ彼女が就任後ワシントンクールも待たずに辞任する英断を下さなければ、私は英国の代表としてこの場に立つことができませんでした。

彼女は2代の王朝に仕えた栄光を手に入れ、代わりに私はここでE.U.なんかよりずっと愛すべきアニメを語れます。そう、2022年の覇権アニメ『リコリス・リコイル』についてです。

千束とたきなキャラデザを見たとき、私は長年アニメを視聴してきた経験からこう思いました。この髪が白い女の子は天真爛漫でおつちよこちよいでちよつと抜けてるトラブルメーカーだけど要所要所で的確に本質を見抜くタイプ。対して黒髪ロングの子は成績優秀で冷静沈着、白髪の子に振り回されるツツコミ役なのだとね。私は自分の慧眼に身震いすらした。そして第1話を見終わったとき、私は自分の見立てが香港返還なみに間違っていたと思い知らされた。

私は百合とは見た目の可愛さよりもキャラ間の関係性に真髓があると信じている。シスターフードも含めてだ。相手のことがとても大切であることには違いないが、単なる友情とも、恋人とも言い切れない、一種独特の間柄。だからこそその関係性には百合という専用の言葉が用いられているわけだが、千束がたきなに向ける感情は、当初の私には知覚できなかつた。そう、千束からたきなへの矢印が見えなかつたんだ。これはどういうことかと思って、移民問題そっちのけで何度視聴してもなにも見えない。そこで気づいた。あまりに千束↓たきなの矢印がデカすぎて、私の視界では捉えきれなかつたんだ、ナスカの地上絵がそこに立っていると全体像が見えないように。クソデカ感情すぎて思わず恐怖すら感じて後ずさつたよ。

では、もうひとりの主人公であるバディのたきなはどうだったか？ やべー女だった。人質に囚われた味方を助けるために機関銃をぶっ放したんじゃない、なんにも考えずにただぶっ放してただけなんじゃないかと思ってしまうくらいにはやべー女。真面目で清楚な生徒会長みたいな顔をしておきながら倫理観がずれている致命的なギャップがたまらない。

こんなふたりがバディとして組んだなら、それはもう危険な化学反応が待っていると想像するに難くない。シンクの詰まりを直そうと塩素タイプと酸性タイプの洗剤をカクテルして最強の洗剤をつくつたあの日を思い出したよ。鼓動を聞こうと千束の爆乳に耳をあてるたきな。電話は3コールで出るよう強要するたきな。そして、“心臓が逃げる！”。そんな束縛地雷女のたきなをブラックホールのように受け入れて包みこむ完璧超人のスパダリ千束。彼女たちの戦いは『ダーティペア』や『あぶない刑事』を下敷きにして、この2022年に新しい百合バディとガンアクションへと昇華していた。まさに一時代を築いたといっても過言ではない。

OPのラスト、千束がたきなのお尻を蹴って、それにたきなが割とガチで蹴り返し、しかし二人とも笑っている。ふたりの関係性をたつた数秒で描き切つたこのシーンの衝撃を私は生涯忘れないだろう。そんなだから、原作者がSNSに“千束の指に気づきましたか？”と

投稿したのを視聴者たちが「千束の爪が短くなっている！」と大騒ぎし、原案者があわてて「C・A・Rシステムから普通の構え方に滑らかに移行しているって言いたかったんだよ！」と弁明する騒ぎもあったが、さもありなん。私は千束とたきなに幸せになってほしいんだ。

脇を固めるサブキャラたちも実に個性的だ。とくにミカ。なにやってんだミカ。日本に「世界よ、これが真のポリコレだ」と突きつけられた気分だ。リコリコのスタッフたちはポリコレを縛りではなくさらに作品を面白くする火薬に使った。これこそがクリエイターのあるべき姿だと教えられた。百合の間に挟まる男、真島のキャラクタ―も単なる悪役に留まらない独特の魅力を出す創造的な試みに成功している。

作画も良好で、ガンアクションも日常風景も美しくエモーショナルに構築されていた。これを流しておけばなんか丸く収まる気がするEDテーマ『花の塔』もこのアニメの象徴として抜群の引きの良さと余韻を残してくれた。脚本の粗を作画と関係性とEDでごり押しするアニメと言ってしまうばそれまでだが、私はエンタメとはどれだけごり押しできるかだと思っている。ツッコむ余地を与えない、それもまた一流のエンタメの在り方ということとは賢明な諸兄には説明の要もないだろう。

つまり全体的に見て、リコリコはアニメを構成するひとつひとつの要素が高水準であるにもかかわらず、どれかがいたずらに突出することなく非常にバランスよくまとまって調和した、極めて完成度の高いテレビアニメだったと言える。バランスが重要なんだ。バランスのとれたリコリコというアニメに出会えた。それだけで2022年は価値ある年になった。プライムビデオのアニメ部門で続編を希望する作品として堂々第1位に輝いたのも納得だ。国王の時代がいつまでもつかはとんとわからないが、リコリコにはぜひ未永く続いてほしい」

これに対して各国首脳のあいだからは「リコリコは今2クール目が佳境じゃないか」「私はこのあいだハワイが舞台の25話を見たばか

りだ」と混乱の声も聞かれた。リコリコ・ロスのあまり、同アニメが未だ制作と放送を継続している集団幻覚に陥っているものと思われる。存在しないリコリコ14話以降の感想戦を始めた首脳らをよそに最後に英国首脳はこうしめくくった。

「私がリコリコに言いたいことはただひとつ。『錦木、責任をとれ』。ありがとう」

ドイツ 懐かしの密告時代

前任者よりいまいち影の薄いドイツ新首相は、かつてメディアに「オートマタ」と皮肉られた、感情を排した演説を展開した。

「世界は激動の時代を迎えています。地殻変動なみの変革です。なぜならそれは、ジャンプ+の最高傑作の呼び声も高い『SPY×FAMILY』が、ついにアニメ化されたからです。

『SPY×FAMILY』は、昔懐かしい東西冷戦時代のドイツを思わせる架空の世界が舞台です。凄腕スパイの〈黄昏〉が任務のために妻子ある夫を演じることになり、まず孤児院からアーニヤを引き取って娘にします。ついで、適齢期なのに結婚していないことを周囲に怪しまれゲシュタポに密告されるところだった公務員の女性ヨルさんと利害が一致したことで偽装結婚を果たし、任務に必要な三人家族が出来上がります。

凄腕のエリートがそれまで無縁だったキラキラした生活を演じる必要に迫られ、なんとか適応しようともがいて空回りするさまがおかしみを誘う点では、『デンジャラス・ビューティー』に通じるものがあるでしょう。

ですがこの三人はただの偽装家族ではありません。〈黄昏〉はもちろんスパイであることを隠していますが、アーニヤは実は読心術が使える超能力者で、その異能ゆえに施設や里親をたらい回しにされた過去から能力のことをひた隠しにします。ヨルさんはなんと凄腕の殺し屋。祖国に巣食う売国奴やスパイを根絶やしにする暗殺者であることを〈黄昏〉とアーニヤにはひた隠しにします。

スパイ、超能力者、殺し屋。三人が三人とも素性を隠し、自分の正

体を知られないようにしながらフォージャー家という家族を装う、奇妙な新生活を送るこの作品は、「家族とはなにか」という人類を長年悩ませてきた命題にひとつの答えを見せてくれました。

家族とはつまるところ、ただの他人です。子供はともかく夫婦に至っては血すら繋がっていません。血の繋がりがあの子供も、独立した一人の人格を持つ点ではやはり他人です。しかし現代では、悲しむべきことに、血の繋がりを神聖視するあまり、家族だから自分を助けて当たり前と考えたり、どれだけ憎くても家族だから助ける義務があると自分で自分を束縛していえるケースが増えているのではないのでしょうか。家族や血の繋がりは、実はなんら現実的な力を持たないフィクションなのです。そのフィクションは、適切な使い方をすれば心のよりどころになりますが、過度にすぎりつけば悲劇が待っています。実際、世の中の殺人事件の大半は親族が犯人なのです。

ひるがえってフォージャー家は、三人とも重大な隠し事を秘めているものの、お互いを尊重しあい、周囲から怪しまれない仮初めとはいえ、仲のよい家族になろうと日々努めています。〈黄昏〉はアーニヤを厳しくしつける一方で多少無理してでも時間を作って家族サービスも忘れない。ヨルさんはアーニヤの善き継母になろうと苦手な家事に奮闘する。アーニヤは超能力で〈黄昏〉のスパイ活動を陰ながら支援する。

この三人は素性も素性なら、どこか常識も欠けている、いわば異常者の集まりなのですが、その異常者三人が形作るフォージャー家が、互いが互いを慈しみ、助け合う、まさに理想の家族像となっている点が興味深い。ここからは次のような結論が導き出されます。家族とは、血が繋がっているだけで自動的に形成できるものではなく、むしろ呪いにさえなりうる。しかし逆に血縁がなくとも互いに助け合おうとすれば家族になれるのだと。そもそも夫婦は赤の他人です。双方向的な絆を育む姿勢や過程こそが家族なのでしょう。

狂人のまねをする者は狂人です。ならば、善き家族のまねをする者たちは、それはもう家族なのです。

現代では残念ながら機能不全家族が深刻な問題となっており、同じ

くジャンプ+で連載された『タコピートの原罪』で描かれた救いような家庭がリアリティをもって受け入れられるほど普遍化してしまっています。だからこそ、家族とはなにか、それを問い直す『鬼滅の刃』や『万引き家族』、そして本作が支持されたのでしよう。

テーマ性のみならず、スパファミは単純にエンタメとして面白い。冷戦、スパイ、諜報合戦、殺し屋という、どうしても殺伐となりがちな要素が揃っていないながら、メインキャラがいずれも善性が根底にあり人間臭さも持ち併せていることで自然と感情移入する。

なんといつても、アーニヤが可愛い。作中最も表情が豊かな顔芸担当でありながら、事実上の真の主人公でありヒロインでもあるアーニヤ。たどたどしい言葉遣いも実に可愛らしい。私も最近は外出時に“おでけけ”といって妻を困らせるのが日課になりました。おでけけ。なんと可愛い言葉か。オヤツをお通夜と言っていた若い頃を思い出します。題材からしてシリアスな本作を老若男女問わず楽しめる娯楽作品に仕上げているのはまぎれもなくアーニヤのお手柄といえるでしょう。

もちろんアニメとして、よく動きながらも緩急のメリハリの効いた演出は純粋に物語を楽しむことに集中させてくれます。動いて喋るアーニヤのなんと愛くるしいことか。イーデン校の制服を公園で見せびらかすときの“ばーん”があまりにも素晴らしい。私が脳内で想像していたアーニヤの声の100倍アーニヤしてた。

疑似家族でありながら精いっぱい本物の家族になろうとしているフォージャー家の行く末を応援せざるを得ないとともに、来年23年には二期と劇場版の公開も予定されている『SPY×FAMILY』こそがことしの覇権であることは疑いようのない事実です。

私の退屈な演説を最後まで聴いてくれて、あざびます」
機械のようだと言ったドイツ首相に、各国首脳は感情を獲得したAIを見たように拍手喝采を送った。

日本 サッカー大躍進

「2022年は、わが国にとって非常に意義のある年となりました。

サッカーワールドカップで並み居る強豪国を相手に勝ち進み、グループリーグ一位で通過し、過去最高に並ぶ9位となる快挙を成し遂げました。

その記念すべき年に、異色のサッカー漫画『ブルーロック』が最高の形でアニメ化されたことに、私は運命を感じずにはいられません。『ブルーロック』は、スポーツ漫画で重視される“スタンドプレーを戒め、チームプレーで勝つ”という常識を真つ向から否定する挑戦的な作品です。連載当初は、その異質さ、実在の選手を揶揄する台詞等から批判を浴びることもありました」

『ブルーロック』では、サッカー日本代表がワールドカップで成績を残せないのは得点力不足にあるとして、全国から10代のフォワードばかりを300人集め、蟲毒のように競わせて最後の一人になるまでふるいかけ、最強のストライカーを育てるという「青い監獄プロジェクト」に主人公が放り込まれるところから物語が始まる。サッカーは本来さまざまなポジションが有機的に機能して試合を展開するため、それぞれのポジションに適した人材も異なる。しかし本作では全員がフォワードなので、訓練内容も「とにかくボールを奪ってシュートするだけ」というシンプルな展開が軸となり、サッカーに詳しくない層にもとっつきやすい効果が見られた。

「本作の最大の特徴は、異様なまでに個性的なキャラクターの面々にあります。『フォワードに必要な資質は、チームメイトを自分がゴールを決める引き立て役だと信じて疑わない強烈なエゴ』という哲学に基づいて制作されている漫画だけあって、全員が利己的で、自分が得点することしか考えていません。

まとまりのない、バラバラで無秩序な集団。それが、訓練を経るなかで、どうすれば得点できるか、それを追求するうちに、利己のためには利他が最も効率が良いことに気づき始め、強すぎる個性を各々が上手く活かしながら結果的にチームがまとまっていく過程には、近年稀に見る爆発的なカタルシスがありました。まさに、“われわれにはチームプレイなどという都合のいい言い訳は存在しない、あるとすればスタンドプレーから生じるチームワークだけだ”を体现するス

トリーといえました。閣僚のドミノ辞任が続くわが内閣もそうあるべきかもしれません。

なにより、千切豹馬くんのキャラ造形には素晴らしいものがあります。『幽遊白書』の蔵馬や『HUNTER×HUNTER』のクラピカの流れを汲む中性的キャラで、エゴが強いフォワードとして集められた一人のはずですが、千切くんだけはどこか一步引いて冷めたところがあります。それは千切くんの過去に起因するもので、ある理由から本気を出せずにいた千切くんが、ついに吹っ切れて真の才能を発揮する瞬間は神がかりとしかいいようがありません。千切くんの汗を再現した香水の国産化を検討したいと考えております。

日本サツカーのさらなる躍進を衷心より願い、スポーツを通じた世界平和への決意を新たにするとともに、原作ではさらに面白くなる第二次選考編に突入した『ブルーロック』の2クール目への期待も込め、ことしの覇権アニメに推挙したいと、こう思うものであります」

ぼっち・ぎ・平壤！

93年から弾頭ミサイルの発射実験を繰り返している北朝鮮。ことしては過去最多の発射数を記録し、ミサイルの性能向上アピールに余念がないが、最高指導者である朝鮮労働党委員長が富国強兵とともにアニメ視聴と考察に国を挙げて取り組んでいることも話題になった。世界からの孤立、ぼっち化を深める北朝鮮で今いったい何が起きているのか。

国連総会に総書記の代理で出席した北朝鮮代表はマンゴーの箱を被ったまま演説した。

「わが朝鮮民主主義人民共和国と、英明なる同志にして偉大なる継承者たるわれらが党委員長は、決してぼっちではない。しかし、ぼっちである現状を打破するべくロックで世界に戦いを挑む後藤ひとりの物語『ぼっち・ぎ・ろっく！』には全人民が共感を覚えることは一片の疑いの余地もない。『ゆるキャン△』のなでしこと同じカラーリングなのにどうしてこんなに陰陽の差がついたのか、わが国が経済制裁を受けている理由と同じくらい謎である。

後藤ひとり、通称ぼっちちゃんがバンド仲間と出会い、初めて出来た友達との交流を通じて成長していく姿を描く『ぼっち・ぎ・ろっく！』の最大の特徴は、原作の卓越した秀逸さもさることながら、漫画である原作を解きほぐしてアニメに編み直す制作陣の手腕にある。映像というメディアに翻訳するにあたり、ぼっちちゃんの溶ける変顔など奇抜な表現のみに終始することなく、構図にキャラの心情を託し、スピーカーの前に置かれたペットボトルの飲み物が振動で震える描写など丁寧な演出を堅実にこなす『ぼざろ』アニメスタッフの功績は白頭山よりも大きい。

忘れてはならないのが、ぼっちちゃんを演じる青山吉能氏の怪演だ。親愛なる指導者、党委員長も、この声優はぼっちちゃんのために生まれてきたに違いない」と絶賛した鬼気迫る演技は子々孫々に渡るまで語り継がれるだろう。

わが朝鮮民主主義人民共和国は『ぼざろ』二期の制作を強く望むものであり、そのためにはわが国は保有核兵器の完全かつ不可逆で検証可能な形での放棄も辞さない覚悟である」

北朝鮮の核関連施設やミサイル関連施設の画像分析を専門とするサイト「38ノース」は、『ぼざろ』の放送日には同国がミサイルを発射していないことを挙げ、「その日は豊溪里の整備兵にアニメ視聴命令が出ていたと思われる。『ぼざろ』が映画化すれば公開日は祝日になりかねない。状況は予断を許さない」と分析した。

ウクライナ大統領 魔女に心酔

手も足も使わずにピアノを弾けるウクライナ大統領は、ウクライナからビデオメッセージで参加した。

「20年前にタイムスリップしたとして、2022年は『うる星やつら』や『聖剣伝説』のアニメが放送され、『スラムダンク』の映画が公開されると言っても、だれにも信じてもらえないだろう。どことは言わないが、面積は最大だが道徳は最小の国が19世紀のように隣国に攻め入って、あまつさえ1年近く苦戦していると力説しても、きつと鼻で笑われるように」

劈頭、ウクライナ大統領が切り出して各国代表は爆笑の渦に包まれた。

「ことしは実にアニメが充実した1年だった。いずれも甲乙つけがたい。

『チエンソーマン』、『異世界おじさん』、『パリピ孔明』も覇権を名乗るにふさわしい。

しかし、あえてひとつ選ぶなら、ウクライナは『機動戦士ガンダム 水星の魔女』を推挙したい。

プロローグ、エリクトがガンダムを起動させた瞬間の鳥肌。感情を上書きされてしまったハッピーバースデートゥーユー。そこから1話が始まったときの、どう見てもエリクトが成長した姿にしか見えないのに名前がスレッタ・マーキュリーで、この子エリクトじゃないのかという混乱。ミオリネというガンダム特有の“いい性格の女”。

——百合婚ガンダム。

こういう言い方は好ましくないのかもしれないが、リコリコ難民の受け入れ先ともなった。リコリコの真島と、本作のグエル、百合の間に挟まる男の描き方にこんなに違いが出るのかと思っていたら、今度はグエルが攻略対象キャラ。寮を追い出されればキャンプをし、優雅にコーヒートを啜ってスレッタの決闘を観戦しながら“さあどうする、スレッタ・マーキュリー”。いやお前がまず自分をどうにかしろ。

ガンダムの名前がエアリアルということで、お菓子のエアリアルとコラボしたと思ったら、誕生日に直火で炙られたエランくんがコラボしたのは“炙りトウモロコシ味”で、あいかかわらずサンライズのスツフは人の心がないと思いきや知らされた。泣きながら食べたよ。

また、当初は碓ゲンドウなみに害悪だと思われていたデリング総裁が、話が進むにつれ、実は作中でも屈指のまともな親なのではないかと印象が変化していくストーリーテリングは見事の一言だった。彼自身はなにも変わっていないのに、情報が開示されるにしたがって彼の正しさが明らかになっていく。近年のトレンドである“実はこのキャラの本質は、第一印象と違って”の手法を貪欲に取り入れた意欲的なキャラ造形だ。

スレッタとミオリネの百合婚も、すれ違いと和解を経て、そのたびに毎週一喜一憂させてくれる。『水星の魔女』は2クールあるうちのまだ1クールしか放送されていないが、それでも本作が歴史に残る名作となり、以降のガンダムシリーズ制作のハードルを天高く上げてきたことは言うまでもない。

わが国は、ことし初めから武力侵攻を受け、日常が取り戻せないまま年を越そうとしている。

しかしわれわれは決して戦いをやめることもアニメを観るのをやめることもない。砲弾が降り注ぎ、ミサイルが流星群となって空を満たそうとも、アニメを観る日常はだれにも奪わせない。

愚かな戦争にエネルギーを使わされるのはまっぴらだ。
戦争に付き合わされるのはまっぴらだ。

だからわれわれはアニメを観続ける。卑劣な侵略者に、おまえたちではわれわれのアニメを観る時間さえ破壊できないのだと教えるために。

願わくば、侵略者たちも銃声や砲声より声優の声のほうが聞く価値があることに気づいてほしい。

来年が世界のすべての人々にとってよい年になりますように。そして、また素晴らしいアニメに溺れ、現実の悲劇にはなくアニメキャラのことで一喜一憂できる年になりますように。ありがとう」